

## 第3章

# 調査結果の活用

学校における分析等が効果的かつ円滑に行えるよう、分析方法の例を作成しました。

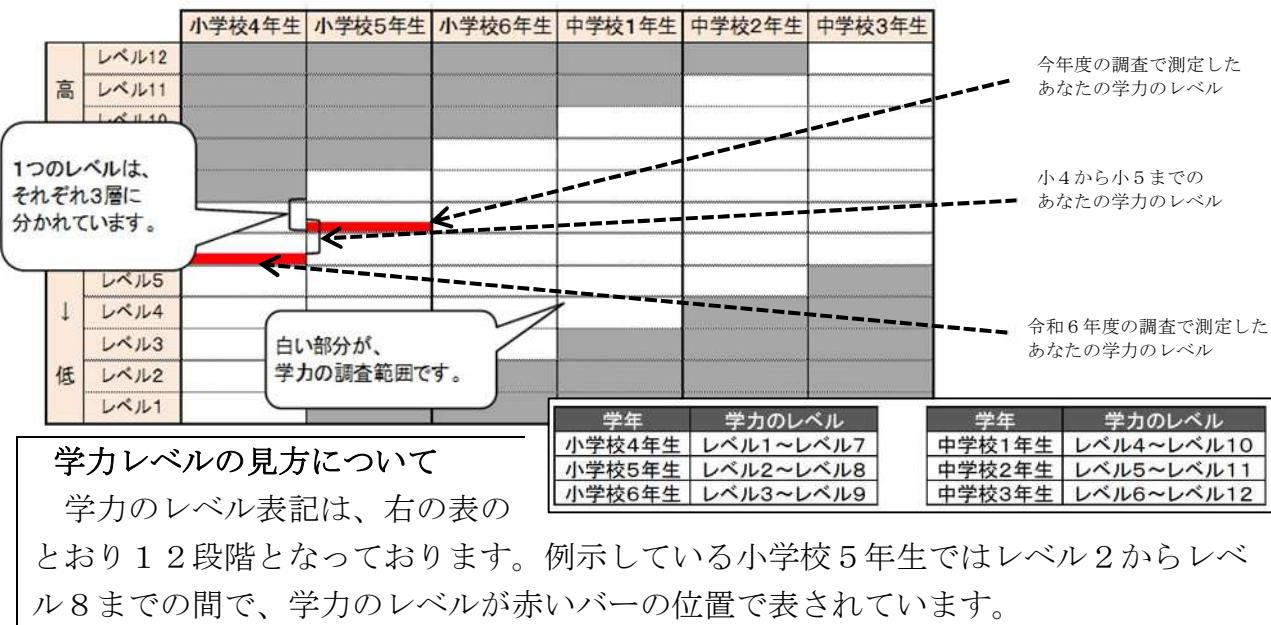
- ①各学校の実態を把握する
- ②分析を行う
- ③仮説を設定する
- ④検証を行う

調査結果から、各学校の実態を把握し、分析を行うことで課題等を踏まえた仮説を設定し、その仮説に基づく取組によって検証を行うといったP D C Aサイクルの確立につなげてください。

# 1 個人結果票、結果帳票の活用

## (1) 個人結果票（教科に関する調査結果）の見方

### 例：小学校5年生の教科に関する調査結果の見方



### 教科の領域等別正答率など

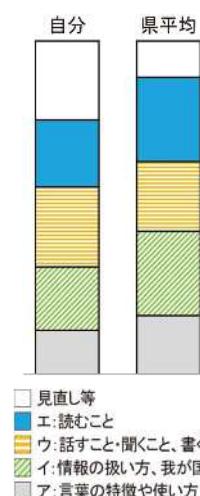
あなたの正答数	問題数	あなたの正答率(%)	埼玉県平均正答率(%)	あなたのかけた時間	県平均かけた時間
ア	14	82.4	68.0	07分24秒	13分39秒
イ	5	83.3	64.2	04分25秒	06分40秒
ウ	2	40.0	51.3	05分07秒	05分26秒
エ	2	66.7	57.5	04分24秒	05分27秒
全体	23	74.2	63.6	21分20秒	31分12秒

未解答の問題	表示していない問題	あなたの見直し等の時間	埼玉県の見直し等の時間の平均
なし	なし	18分40秒	08分48秒

未解答の問題「あり」=解答を入力していない問題がある  
表示していない問題「あり」=最後の問題まで表示していない

### 領域別の解答時間分布



※解答に「かけた時間」は、その問題を解き始めてから最初に解答が保存されるまでの時間です。  
※「見直し等の時間」は、調査全体の時間から「かけた時間」を引いたものです。

正答率や「かけた時間」を県平均と比べることで得意・不得意を捉えるヒントになります。

※解答に「かけた時間」の県平均は、正答・誤答に関わらず全ての児童生徒を対象に集計しています。  
※ルビ版を使用した場合、「かけた時間」は返却できません。

### 県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	話すこと・聞くこと、書くこと				
問題の概要	相手にわかりやすくなる順番に話の内容を並べ替える				
見直し回数	7	正誤	正	県正答率	57.9%
かけた時間	05分12秒	かけた時間	県平均	01分06秒	

領域等	言葉の特徴や使い方				
問題の概要	反対の意味の言葉を答える				
見直し回数	2	正誤	誤	県正答率	67.8%
かけた時間	02分23秒	かけた時間	県平均	01分06秒	

※全問正解や全問不正解や県平均ほど時間をかけていない場合には、「-」となって返却されます。

※見直し回数は、初めて解答が入力・保存された後に、その問題を再表示した回数です。

## 学習に関するアドバイス

今回の学力の状況や、今後どのような学習をすれば、お子さんの学力が上がるのかを記載しています。

※ 上記で示す学力は、この調査で測定したものであり、お子さんの学力のすべてではありません。

### (2) 個人結果票（質問調査の結果～規律ある態度の達成目標～）の見方

#### 達成目標とその達成状況

達成目標			R7
けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	通学班の集合時刻や登校時刻を守ることができますか 授業や活動の始まる時刻を守ることができますか	☆ ☆
	2 身の回りの整理整頓をする	脱いだはき物をそろえることができますか 机やロッカーの中の整理整頓ができますか	☆ ☆
礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする	自分から挨拶ができますか 名前を呼ばれたら「はい」と返事をすることができますか	☆ ☆
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける	時と場に応じた正しい言葉遣いができますか 相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができますか	☆ ☆
約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る	学習の準備を整え、授業に臨むことができますか 先生の話や友達の発表を聞き、自分の考えを伝えることができますか(グループの中で行うものやパソコン・タブレットを使ったものも入ります)	☆ ☆
	6 生活のきまりを守る	人の集まるところでは静かにし、姿勢を正すことができますか 進んで掃除をし、学校をきれいにすることができますか	☆ ☆

☆は選択肢の「よくできる」、「だいたいできる」、「あまりできない」、「できない」の中から、「よくできる」、「だいたいできる」を選択したことを表しています。

### (3) 家庭での活用の仕方

#### ① 「よいところ」「努力が必要なところ」を把握

調査では、学習した内容が「どれだけ身に付いているのか」がわかります。毎年調査を受けることで「学力の伸び」も見ることができます。結果を見て、お子さんの現在の学力を知り、それをどれだけ伸ばしていくかということが大切です。学校の先生と話し合いながら、お子さんのよさを伸ばしていきましょう。

#### ② 一人一人にあった「目標の設定」

「よいところ」「努力が必要なところ」を把握したら、お子さんに合った目標を立てていきましょう。

#### ③ 家庭学習の習慣化

目標に向けて学力を伸ばしていくためには、学校の授業の予習・復習を中心とした家庭学習を習慣化していくことが必要です。家庭学習を習慣化するためのルール作りも一つの方法です。

(県学調の復習シート <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/images/fukusyuusi-to2.html> も御活用ください。)

#### (4) 学級担任の活用の仕方

「個人結果票」は、児童生徒一人一人の調査結果を、児童生徒や保護者、先生方にお知らせするものです。一人一人のつまずきを早期に発見し、その解消を図ることができるよう御活用ください。

##### 返却前

個人結果票に、各学校で保管している個人番号票をもとに名前を記入してください。

※児童生徒に誤った結果が返却されないよう十分に確認の上、返却してください。

##### 返却時

###### ○児童生徒への声かけ

- ・一人一人の1年間の伸びに注目し、認め、ほめてください。
- ・その後に苦手領域を中心に家庭学習をするよう言葉かけをしてください。
- ・解答ログに着目して、県の平均と比較して時間をかけている領域や問題について、適切に声かけをしてください。
- ・今後の学習計画についてアドバイスを行ってください。

###### ○保護者への伝達

- ・可能な限り時間をかけて、お子さんのよさや課題を伝えまでください。
- ・伸びたところをほめるとともに、苦手領域を中心に家庭学習を行うよう伝えてください。
- ・家庭学習には、県のホームページから本調査の「復習シート」をダウンロードして活用できることを伝えてください。

## (5) 学級担任・教科担当者の帳票結果の分析・活用（例）

1 活用方法 <small>(解説動画:県学調の特長3つ！知っていますか？編)</small>	
<p>(1)児童生徒の学力や学習に関する事項等の結果を把握し、つまずき等を早期発見する。</p> <p>(2)早期解消のため、PDCAサイクルを確立し、組織的に分析・検証等を行い、指導の工夫改善を進める。</p> <p>(3)児童生徒の1年間の伸びに注目し、認め、ほめるとともに、児童生徒、その保護者へ家庭学習を促す。</p>	<p><b>2 具体的な活用の流れ</b> <small>(解説動画:どうやって学校全体で分析するの？)</small></p>  <p>PLAN (計画) 教育課程の作成</p> <p>ACTION (改善) ★授業改善★</p> <p>DO (実行) 授業を実施</p> <p>CHECK (評価) 学習状況を評価</p> <p>埼玉県学力・学習状況調査の結果(PDCAサイクルのCHECK)</p> <p>○調査結果から、①各学校の実態を把握し、②分析を行うことで課題等を踏まえた③仮説を設定し、その仮説に基づく取組によって④ACTION(改善)を行うといったサイクルの確立につなげていただけたらと考えています。</p> <p>○県教育委員会では、各小・中学校における分析等が効果的かつ円滑に行えるよう、分析・活用の例を作成しました。各小・中学校におかれましても、独自の分析等と併せて御活用ください。</p>
<p>○調査結果から、①各学校の実態を把握し、②分析を行うことで課題等を踏まえた③仮説を設定し、その仮説に基づく取組によって④ACTION(改善)を行うといったサイクルの確立につなげていただけたらと考えています。</p> <p>○県教育委員会では、各小・中学校における分析等が効果的かつ円滑に行えるよう、分析・活用の例を作成しました。各小・中学校におかれましても、独自の分析等と併せて御活用ください。</p>	

内容	学級の学力の伸びの状況	指導の工夫改善の成果	各教科の実態の把握
帳票の分析例	<p><b>帳票40</b> 児童生徒一人一人の学力のレベル・伸び・学習方略・非認知能力の数値から気になる児童生徒の把握・分析</p> 	<p><b>帳票04</b> 学校の回答と市町村教委、県平均の回答状況の比較</p> <p><b>帳票10</b> 児童生徒の回答と市町村教委、県平均の回答状況の比較</p> <p><b>帳票04</b>と<b>帳票10</b> 2つを比較することで、教職員と児童生徒の意識の差の分析</p>	<p><b>帳票09</b> 各教科の領域ごと・設問ごとの正答率、無解答率や難易度を県平均との比較・分析</p> <p><b>帳票33</b> 学力を伸ばした児童生徒の割合、学力のレベルの伸びの平均の把握</p> <p><b>帳票48</b> 県平均と領域ごと・設問ごとの解答ログの比較</p>
活用例	・気になる児童生徒に対する具体的な手立てと方策の検討	・教職員と児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業を振り返り、調査結果を授業改善に活用	・既習事項と結び付けた導入の工夫 ・授業改善に向けた具体的な取組の検討
検討者、検討場面例	・担任、学年職員 ・学年会	・校内研修 ・学年会	・教科部会 ・校内研修
参考資料	<p><a href="#">総合教育センター義務教育指導課研修用</a> <a href="#">サイト</a>に、R7版帳票40色分けツール 及び説明動画をリニューアルして掲載</p>	<p><a href="#">「主体的・対話的で深い学び」の視点による質問調査について</a></p>	<a href="#">帳票09解説動画</a>

## (6) 学校担当者の帳票結果の分析・活用（例）

①実態把握

②分析

③仮説

ACTION（改善）

分析	学年全体の学力の伸びの状況	学級の学力の伸びの状況	各教科の実態の把握	指導の工夫改善の成果	学力を伸ばした教員・よい取組の発掘
帳票の分析例	<p><b>帳票28</b> 1 平均学力のレベルの状況の把握・分析 ①学力の伸び幅の違い ②学力のレベルの違い 2 学力層別の伸びの状況の把握・分析 ①学力層別の学力の伸びの状況 ②埼玉県のグラフの傾きとの比較 ③各学力層の学力のレベルの把握</p>	<p><b>帳票40</b> 児童生徒一人一人の学力のレベル・伸び・学習方略・非認知の数値から気になる児童生徒の把握・分析</p>	<p><b>帳票09</b> 各教科の領域ごと・設問ごとの正答率、無解答率や難易度を県平均との比較・分析 <b>帳票33</b> 学力を伸ばした児童生徒の割合、学力のレベルの伸びの平均の把握 <b>帳票48</b> 県平均と領域ごと・設問ごとの解答ログの比較</p>	<p><b>帳票04</b> 学校の回答と市町村教委、県平均の回答状況の比較 <b>帳票10</b> 児童生徒の回答と市町村教委、県平均の回答状況の比較 <b>帳票04</b>と<b>帳票10</b> 2つを比較することで、教職員と児童生徒の意識の差の分析</p>	<p><b>帳票42</b> 帳票を前学年の学級ごとに並べ替え、「学力の伸びの平均」や「学力を伸ばした児童生徒の割合」を計算することを分析</p>
活用例	・学力を伸ばした先生が行っている効果的な取組を学校全体で共有	・気になる児童生徒に対する具体的な手立てと方策の検討	・既習事項と結び付けた導入の工夫 ・授業改善に向けた具体的な取組の検討	・教職員と児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業を振り返り、調査結果を授業改善に活用	・学力を伸ばした先生が行っている効果的な取組を学校全体で共有
検討者、検討場面例	・校内研修 ・学年会	・担任、学年職員 ・学年会	・教科部会 ・校内研修	・校内研修 ・学年会	・学校担当者
参考資料	<a href="#">帳票28解説動画</a>	総合教育センター義務教育指導課研修用サイトに、R7版帳票40色分けツール及び説明動画をリニューアルして掲載	<a href="#">帳票09解説動画</a>	「主体的・対話的で深い学び」の視点による質問調査について	R5報告書(§3 調査結果の活用) R6報告書(§3 調査結果の活用)

### さらに分析を進める方法

- コバトンのびのびシート(学力に課題のある児童生徒について学力や学習の状況把握等)
- 分析支援プログラム(「学力の伸び」の階層と児童生徒質問調査項目のクロス集計)
- R7から追加となった、**帳票48**(解答ログの帳票)の活用例

## 仮説を設定するまでのプロセス例



①実態把握

②分析

③仮説

ACTION  
(改善)

協議、意見交換を経て、仮説を設定し、それに基づいた改善を行っていきます。

なお、校内研修で、教科部会と学年会でそれぞれ検討したものをとりまとめ、協議し、全校の取組にすることなども考えられます。

### 協議例1 どのような学力状況にある子供を重点的に伸ばしていくか。

- 学力が下位で、伸び悩んでいる子供を伸ばしたい。
- 「自分の考えを書くことが苦手」で、伸び悩んでいる子供を伸ばしたい。
- 伸びている子供を、もっと伸ばしたい。  
(例えば伸びが著しい子供が中位層に集中している学校など)

### 協議例2 学年(学校)として、どのようにして伸ばしていくか。

- 効果的と思われる取組を学年(学校)に広げたい。
- 学校の強みとして表れている項目を地域・保護者に広めたい。

### 仮説の設定

- 学年(学校)、教員独自の仮説を設定し、仮説に基づく取組、検証を行う。

<仮説>(協議・意見交換により設定)

例「授業などで、自分の考えを、理由を付けて発表したり書いたりする機会を増やすことで、学力が伸びる子供たちが増えるだろう。」

<重点項目>(学年(学校)の実態及び協議・意見交換から設定)

- 例① 学力が低い子供へのきめ細かな指導を行う。
- ② 授業規律を大切にする。

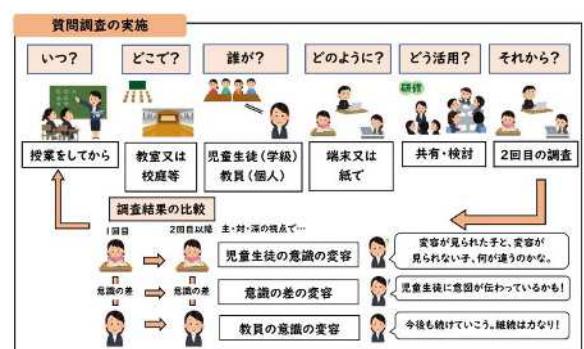
こちらもオススメ

### 「主体的・対話的で深い学び」の視点による質問調査

教員と児童生徒が授業の振り返りを行うための質問調査で、授業の良さの共有や、改善点とその改善方法を検討するきっかけとすることができます。

#### 《特長》

- 県学調の主体的・対話的で深い学びに関連する質問事項をピックアップ
- 学年・教科に関わらず使用可能
- 端末を活用した実施・集計も可能
- 義務教育指導課研修用資料サイトからダウンロードしてすぐ使える  
→「主体的・対話的で深い学び」の視点による質問調査について



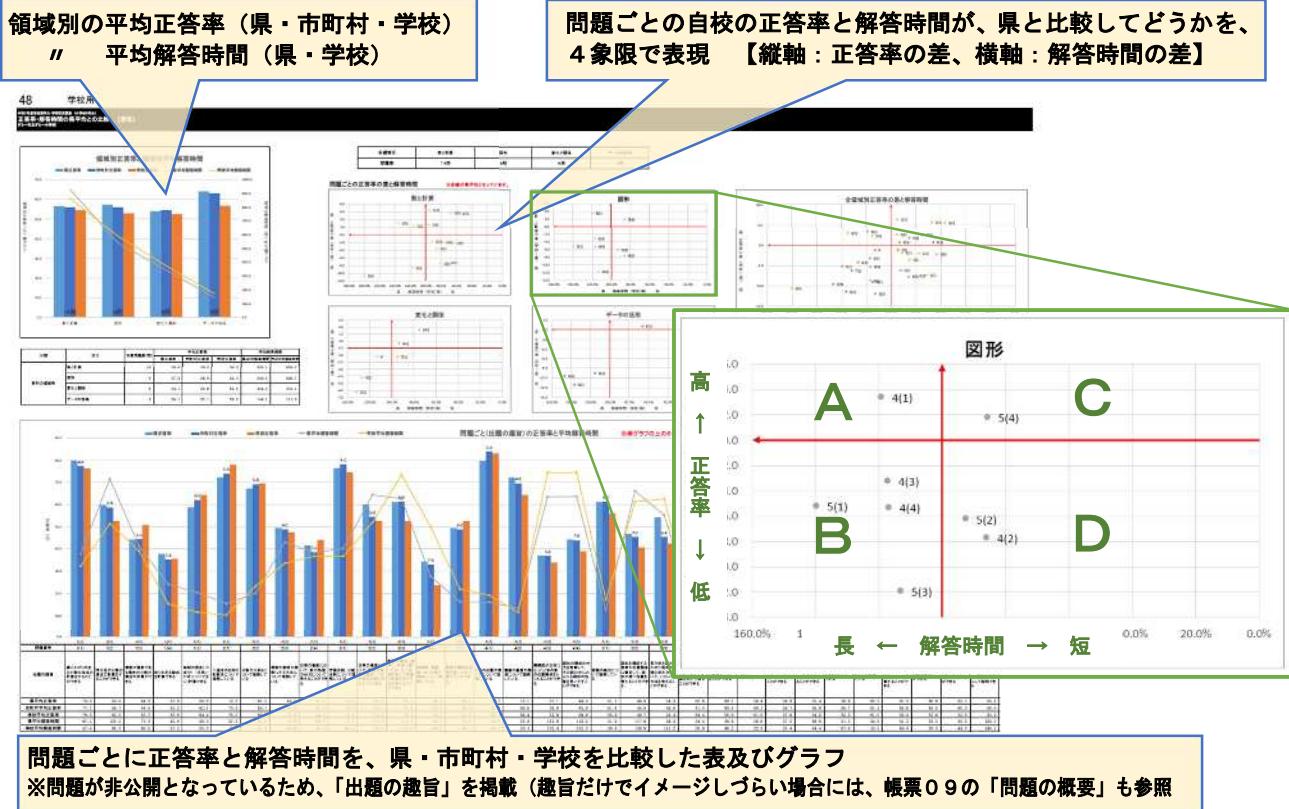
## (7) 市町村教育委員会担当者の帳票結果の分析・活用（例）

内容	市町村全体の学力の伸びの状況	指導の工夫改善の成果	学力を伸ばした教員・学力を伸ばしたよい取組の発掘
帳票の分析例	<p><b>帳票28</b></p> <p>1 平均学力のレベルの状況の把握・分析</p> <p>①学力の伸び幅の違い ②学力のレベルの違い</p> <p>2 学力層別の伸びの状況の把握・分析</p> <p>①学力別の学力の伸びの状況 ②埼玉県のグラフの傾きとの比較 ③各学力層の学力のレベルの把握</p>	<p><b>帳票04</b></p> <p>学校の回答と市町村教委、県平均の回答状況の比較</p> <p><b>帳票10</b></p> <p>児童生徒の回答と市町村教委、県平均の回答状況の比較</p> <p><b>帳票04と帳票10</b></p> <p>2つを比較することで、教職員と児童生徒の意識の差を分析</p>	<p><b>帳票42</b></p> <p>前学年の学級ごとの「学力の伸びの平均」や「学力を伸ばした児童生徒の割合」を分析*</p> <p>*前年度の学級担任や授業担当者を明らかにすることで学力を伸ばした教員を発掘できる。</p>
活用例	<p>学校訪問時の活用方法例</p> <p>【前日まで】</p> <p>・訪問前日までに、訪問する教育委員会関係者で共有し、学校の状況を把握する。</p> <p>【当日(支援例)】</p> <p>・学校の取組に対する指導・助言</p>	<p>学校訪問時の活用方法例</p> <p>【前日まで】</p> <p>・学校質問調査と児童生徒質問調査の意識の差の有無の確認。</p> <p>【当日】</p> <p>・差があれば、それを埋めるための「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善への指導・助言内容の検討。</p>	<p>学校訪問時の活用方法例</p> <p>【前日まで】</p> <p>・授業者の指導案と帳票42を確認し、児童観、指導観に差異がないかを確認。</p> <p>【当日】</p> <p>・差異があれば、指導・助言。</p> <p>・学校訪問の分科会で、学力を伸ばした先生が授業で行っていた具体的な指導場面(児童生徒とのやりとりや褒めている様子)を取り上げる。</p> <p>・よい取組を収集し、管内へ広げる。</p>
参考資料	<p><a href="#">帳票28解説動画</a></p>	<p><a href="#">「主体的・対話的で深い学び」の視点による質問調査について</a></p>	<p><a href="#">令和5年度県学調報告書(§3 調査結果の活用)</a></p> <p><a href="#">令和6年度県学調報告書(§3 調査結果の活用)</a></p>

## (8) 帳票48(解答ログの帳票)の活用について

**NEW**

### 1 帳票48の見方



### 2 帳票48の活用例

4象限に注目すると、次のように考えることができます。

集団の傾向	授業改善の考え方	具体的な対応
A 解答時間が長く、正答率が高い	思考を整理するための授業改善	既習事項を振り返る際に、児童生徒の考えを整理しながら、授業を展開し、新たな学習内容を展開していく。 繰り返し振り返る機会を設けて、できたことを称賛しながら定着を図る。
B 解答時間が長く、正答率が低い	基礎・基本を徹底するための授業改善	既習事項を丁寧に振り返り、取り組ませる。どこでつまずいているかを教師が見取り、できていることをほめながら自覚させ、基礎・基本を定着した上で、新たな学習内容を展開していく。
C 解答時間が短く、正答率が高い	既習内容を精選した授業改善	既習事項の復習に充てる時間を短くし、新たな学習内容に取り組む時間を増やしたり、発展的な内容に挑戦させたりしていく。
D 解答時間が短く、正答率が低い	粘り強さを実感させる授業改善	粘り強く取り組ませる重要性を実感させる。既習事項と新たな学習のつながりを実感させながら学習を進めたり、繰り返し振り返る機会を設けたりすることで、できたことを称賛し、自己効力感を高め、定着を図る。

児童生徒の実態によって、授業改善の方法は異なります。どこで既習事項の時間をかけるか、どこで既習内容を精選し発展的な内容に挑戦させるかなど、検討する一つの材料にしてください。

## 2 授業改善への活用

### (1) 教科別授業改善の視点

#### 国語科

##### 【今年度の調査からみられた課題（傾向）】

- 小学校では、各学年で「言葉の特徴や使い方」の領域で正答率が高い傾向がある。「話すこと・聞くこと、書くこと」の領域では各学年で平均正答率が低い傾向があり、課題が見られた。
- 中学校では、前年度と比べて第1学年で全体的に伸びが見られた。「読むこと」（第2・3学年）では平均正答率が低く、課題が見られた。

##### 【主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の視点】

###### ○「主体的な学び」の実現に向けた授業改善

授業や単元で身に付けさせるべき言語能力を明確にすることで、児童生徒が学習に見通しをもち、自らの学習を調整しながら主体的に学習に取り組むことができるようになります。

###### ○「対話的な学び」の実現に向けた授業改善

言語活動を通して、児童生徒が課題の解決に向けて他者と話し合ったり交流したりする場面を意図的に設けましょう。そして、その際には児童生徒が解決すべき課題を明確にすることや他者との意見や考えの比較がしやすくなるように工夫することなどが大切です。

###### ○「深い学び」の実現に向けた授業改善

児童生徒が、既習事項を活用しながら、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い合わせたりして、言葉への自覚を高められるようにし、「言葉による見方・考え方」を働きかせられるようにしましょう。

#### 算数、数学科

##### 【今年度の調査からみられた課題（傾向）】

- 小学校では、「数と計算」の領域は正答率が高い傾向がある。「思考・判断・表現」（第4学年）、「変化と関係」（第5学年）において課題が見られた。
- 中学校では、「数と式」（第2学年）「データの活用」（第3学年）の正答率が高い傾向にあるが、「思考・判断・表現」を問う問題で課題が見られた。

##### 【主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の視点】

###### ○「主体的な学び」の実現に向けた授業改善

授業準備の際に、自校の児童生徒の領域の正答率、解答ログ等の状況と県平均との差異を確認し、授業では児童生徒に既習事項との系統性を意識させる工夫を検討しましょう。

導入では、学習のねらいに迫る課題を児童生徒とのやり取りから設定したり、新たな問い合わせたりしましょう。授業の振り返りの場面では、児童生徒と対話をし、児童生徒の言葉を使いながら振り返りを行い、まとめは児童生徒一人一人にノート等に行わせましょう。

###### ○「対話的な学び」の実現に向けた授業改善

本時のねらいに迫る発問や適切な切り返しを通して、児童生徒一人一人が考えをもつための支援をしましょう。また、問題を焦点化し他者との考えを比較検討するなどして、考えを広げ深めることができるようにしましょう。

###### ○「深い学び」の実現に向けた授業改善

児童生徒が数学的な見方・考え方を働きかせ、既習事項との共通点などを見いだすことにより、統合的・発展的に思考するなどの機会を設定しましょう。

## 英語科

### 【今年度の調査からみられた課題（傾向）】

○中学校2年生・3年生共に情報を正確に聞き取る問題は正答率が高い傾向にある。コミュニケーションにおいて必要となる、基本的な語彙や文法・語法についての知識が身に付いているかどうかを問う問題や、やり取りの場面において考えとその理由を述べ合うことには課題が見られた。

### 【主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の視点】

#### ○「主体的な学び」の実現に向けた授業改善

場面や状況に応じて正確に英文を書くために、より場面が分かるように文脈から適切な形式や時制を判断する活動を行いましょう。その上で、意味内容の伝達のみではなく、生徒自身が英語表現の誤りに気付き、修正を加えながら正確性を高めていくように継続して指導を行いましょう。

#### ○「対話的な学び」の実現に向けた授業改善

既習の文法事項と新しく学んだ文法事項とを比較し、共通点や相違点を考える活動を行いましょう。また、身の回りのことで生徒が共通して関心をもっていることについて、即興で相手と事実や意見、気持ちなどを伝え合いながら、会話を継続・発展させる活動を行いましょう。

#### ○「深い学び」の実現に向けた授業改善

授業において、設定したコミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた適切な内容や構成、表現となっているかという観点からペアやグループで文章を読み直したり、教師がモデル文を提示するなどして、生徒が目的に応じた内容や構成、表現となっているか考えられるようにしましょう。

### 【参考資料】 主体的・対話的で深い学びの実現 6則

埼玉の子供たちを「人財」として輝かせるために!

#### 主体的・対話的で深い学びの実現 6則

毎日の授業では、子供たちが「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力・人間性等」など、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けるよう、教員が変容(伸び)を見取ることが大切です。そのためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が有効です。…あなたの授業を見直してみませんか？

変容によって…

- 機械的に記憶するよりも意義や意味を考えることで、より一層、知識や技能の定着を図ることができる。一斉講義・技能の習得
- 自分で課題を見付け、自ら学び、考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題解決する資質や能力が向上する。一思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体性に加えて、チームワークや優しさなど、人間性が向上する。一学びに向かう力・人間性等の涵養

#### 1.【主体的・対話的で深い学びって何？】

- 主体的な学び：学習活動を見直し、振り返り、課題を解決していくこと
- 対話的な学び：学び合い等、他者と協働すること等によって、自己の考えを広げる
- 深い学び：見方・考え方を働きかせて、より深く理解したり考えを形成したりすること

#### 2.【何のために、主体的・対話的で深い学びの実現を？】

「何ができるようになるか」という子供たちに必要な資質・能力を育成するため。そのためには、「何を学ぶか」という学習内容と、「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立てていく授業改善が重要である。

- 目標するのは、「何ができるようになるか」（変容すること）である。
- 一斉指導やグループ学習等の手法や技術等の改善、型の実践の必要性を考えるということではない。
- 子供たちに資質・能力を育成するために、学習内容（「何を学ぶか」）を明確にし、目の前にいる子供たちに、どんな学びの過程（「どのように学ぶか」）がふさわしいのかを見極めることが大切である。



#### 3.【「どのように学ぶか」をいま一度見直す】

子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付けるために、特に、「どのように学ぶか」という学びの過程に着目して、授業の質を高めること。

#### 4.【変容を見取ること】

「何ができるようになるか」という視点で、教員は子供たちの変容(伸び)を見取ること。

- 子供たち一人一人が資質・能力を身に付けて、何ができるようになったかという変容(伸び)を子供たち自らが実感し、教員もその変容(伸び)を見取れるようになることが大切である。
- 5.【信頼関係に基づく学級づくりを】

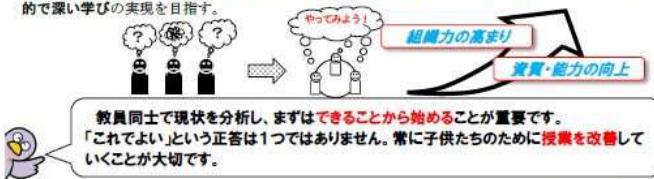
主体的・対話的で深い学びを目指した授業と、信頼関係に基づく学級づくりを「車の両輪」として進めていくこと。

- 学級は、子供たちが日々の生活を共にする基礎的な集団であり、学習活動や学校生活の基盤となることから、担任をはじめとした全教員と子供たちの信頼関係及び子供たち相互の好ましい人間関係づくりが重要である。
- 子供たち一人一人の発達を踏まえた上で、学級での人間関係を豊かにし、コミュニケーション能力を高めることで、各教科等の授業において主体的・対話的で深い学びの実現につながり、さらに学級づくりが充実する。

#### 6.【学び続ける教員集団であるために】

授業改善を目指して、教員同士で、深く考え、学びを通じて変容すること。

- 教員が子供たちに求められる資質・能力を育むために、必要な学びの在り方を絶え間なく考え、教員同士で学び合うことで、様々な観点から授業の工夫・改善について議論を重ね、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。



## (2) 学習指導のポイント

小学校 第4学年 国語 8

問題の学力のレベル  
レベル7-A

### ○ 調査問題

＜解答らん＞

- 友だちが
- わすれた
- 本を
- とどけに
- 行った

友だちが わすれた 本を **急いで** とどけに 行った。

次の文の  
線部がくわしくしている言葉としてあては  
まるものを、あとの解答らんの中から一つ選びましょ  
う。

【8】

### ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】被修飾語を選択する。

【出題の趣旨】修飾・被修飾の関係を理解する。

### ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 「行った」 を選択して いるもの	2 「とどけに」 を選択して いるもの	3 「本を」 を選択して いるもの	4 「わすれた」 を選択して いるもの	5 「友達が」 を選択して いるもの	0 無解答
反応率	15.6%	32.0%	28.0%	12.3%	11.2%	0.9%

- 正答率は、15.6%であった。
- 主な誤答は、「とどけに」や「本を」であった。理由としては、文脈を考えずに前後にある語句を選択していることから、修飾と被修飾の関係を捉えることができていないことが考えられる。
- 修飾・被修飾の関係を捉える際には、修飾語と被修飾語の意味が整合しているかを考えることが大切である。整合しているかどうかを判断できるようにするために、たくさんの文に触れ、語感を磨いていく必要がある。

### ○ 復習シートとの関連

【出典】R6 復習シート

【学年・単元】小学校4年生 言葉

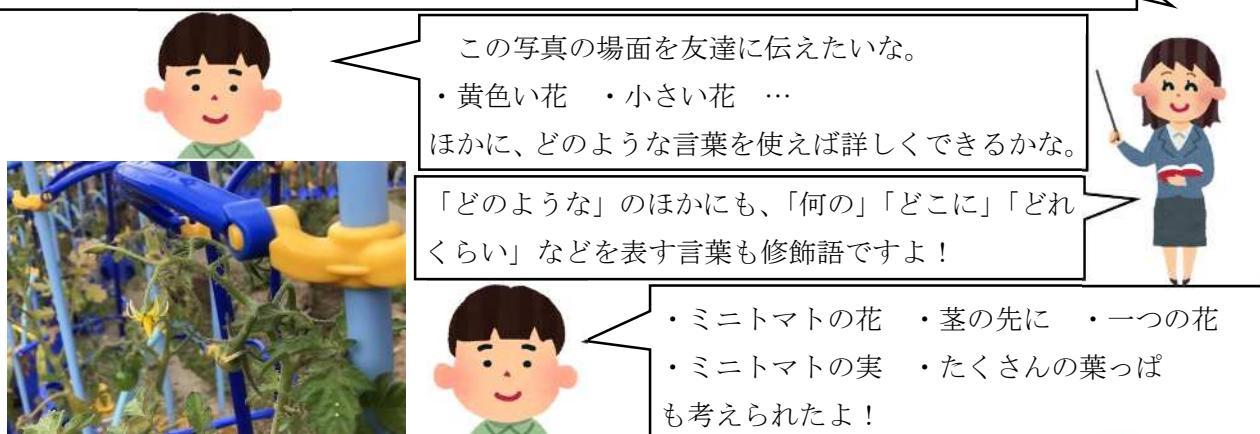
【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198914/r6s4kokuq.pdf>

## ○ 指導上のポイント

場面の説明を考えることで、修飾・被修飾の関係を理解することにつなげる指導

(1) 自分で撮影した写真を、修飾語を使って説明する活動

写真で撮った場面の様子がよく分かるように、修飾語を使った短い言葉を考えましょう。



では、考えた言葉をつなげ、場面を詳しく説明する文を作りましょう。  
このとき、何を詳しくするのかに気を付けましょう。

(2) 友達の写真について修飾語を使って説明し、共通点や相違点を交流する活動

友達の写真を詳しく説明して、気付いたことを話し合いましょう。



## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について



写真に直接書き込むことで、直感的に語句を考え、集めることができる。そのため苦手な児童も取り組みやすい。

写真だけではなく、動画を撮影して場面を言葉で説明させてもよい。プレゼンテーションソフトを活用し、共同作業することで、より多くの考えに触れることができる。

## ○ 調査問題

【17】

山野さんの学級では、埼玉県の伝統的な料理について調べて、おたがいに伝え合う学習をしています。次の解答らんにある4つのカードには、それぞれ山野さんが調べたことをもとに書いた文章の段落が1つずつ書かれています。4つの段落を、話が続くようならべかえましょう。

&lt;解答らん&gt;

このように小麦がたくさんとれたことから、小麦から作られるうどんがよく食べられるようになったようです。

埼玉県の伝統的な料理の1つにうどんがあります。それでは、どうしてうどんがよく食べられるようになったのでしょうか。

また、同じように小麦から作られるまんじゅうも、埼玉県の伝統的な料理として今でも食べられています。

埼玉県は小麦を作るのにむいた土地が多く、昔から小麦作りがさかんでした。さらに、米を育てていない時期の田んぼでも、小麦作りが行われていました。

〈解答方法はこちら〉

- 左の選択しをクリックまたはタップすると、右の解答らんにならべかえができます。
- 右の解答らんの中で、上下を入れかえることもできます。

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】前後の関係から、段落の順番を並べ替える。

【出題の趣旨】文章を書く上での文の構成を理解する。

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 埼玉県の伝統⇒埼玉県は小麦⇒このように⇒また	9 その他の解答	0 無解答
反応率	18.5%	80.8%	0.7%

- 正答率は 18.5% であった
- その他の解答の中では「埼玉県の伝統」⇒「埼玉県は小麦」⇒「また」⇒「このように」との解答が最も多く 54.3% であった。他の誤答にも、「このように」を最後にしたものが目立った。
- 文章を丁寧に読まないまま、「このように」から始まる文章はまとめであると判断した児童が多くいたと考えられるため、「このように」や「また」などを手掛かりとすることは必要だと指導しつつ、それだけに頼らずに、文章の内容や構成を正しく理解させることが大切である。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R7 復習シート

【学年・単元】小学校 5 年生 書くこと

【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198914/r7s5kokuuq.pdf>

## ○ 指導上のポイント

### 文章の構成とつなぎ言葉を意識した書くことの指導

段落相互の関係に注意して文章の構成を考える学習 「工芸品のみりょくを伝えるリーフレットを作ろう」

まず、初め、中、終わりのそれぞれが、どのような内容になるのかをおさえましょう。

(例) 選んだ工芸品のみりょくを伝える文章を書くときの初め、中、終わりの内容

初め	伝統工芸品の説明（地域・作り方など）
中	みりょく（使いやすさ・美しさなど）
終わり	まとめ（もう一度伝えたいみりょく、すすめるところなど）



次に、初め、中、終わりに何を書くのかを、中心となる語や文を使って短い言葉で書きましょう。



(例) 博多おりのみりょくを伝える文章を書くときの初め、中、終わりの内容

初め	・福岡県 　・きぬおりもの（かいこのまゆの糸、全国で作られている）
中	・みりょく1 使いやすさ（ゆるみににくい、ほどきやすい） ・みりょく2 美しさ（きかがくもよう）
終わり	・博多おりにはみりょくがある 　・みんなにたしかめてほしい



選んだ工芸品について書かれた文章を読んだときに、  
中心となる語や文にサイドラインを引いておくのもいいね。



コバトン

最後に、文と文の間や段落の初めに使うつなぎ言葉を選び、  
工芸品のみりょくについて伝える文章を書きましょう



(例) つなぎ言葉とはたらきについての一覧表

つなぎ言葉	はたらき
だから・それで・そのため・ このようなことから など	前の文を理由とする文や、前の文から予想される文が、次に来る事を表す。
つまり・要するに・例えば・ なぜかというと など	前の文についての説明を表す。

説明的文章を読むときにも内容を意識して読ませることが大切です。

段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫することが指導事項です。小学校のうちから伝えたいことが伝わるよう内容に合わせて接続詞を選べるといいですね。

文章の構成と  
つなぎ言葉の  
はたらきは関  
係が深いね。



## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

### 文章の構成を考える際の活用

段落ごとのおおまかな内容を付箋に書き、付箋を並べかえて段落を構成する。

#### ICT活用のメリット

- ・文章を修正しやすいので校正等の時間を増やすことができる。
- ・画面を共有することで、相手の文章のよさに気づいたり、助言し合ったりする機会をより多く設定することができる。



## ○ 調査問題

A

母は真剣な表情で本を読む妹に話しかけた。

【19】

「真剣な表情」をしているのが「母」であるという意味になるように、Aの文の「、(読点)」を打つところをクリック、またはタップしましょう。クリック、またはタップしたところは色が変わります。選び直すときは、一度選んだところをもう一度クリック、またはタップすると、消すことができます。

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】特定の意味になるように読点を打つべき位置を選択する。

【出題の趣旨】文の意味が明確になるように推敲する。

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 「表情で」 のあと	2 「母は」 のあと	3 「真剣な」 のあと	4 「読む」 のあと	5 「妹に」 のあと	6 「本を」 のあと	0 無解答
反応率	55.0%	28.8%	5.8%	4.9%	3.3%	2.0%	0.2%

- 正答率は、55.0%であった。
- 主な誤答は、「母は」のあとに読点を打つであった。理由としては、問題文の『「真剣な表情」をしているのが「母」であるという意味になるように』の「母」を読んで、「母は」のあとに読点を打ったと見られる。
- 読点を打つ際、読点の打つ位置によって意味が変わってしまうことに気をつけなければならぬ。誤答の「母は」のあとに読点を打つと、「真剣な表情で本を読んでいるのは妹」になってしまふ。読点を打ったあとにもう一度読み返し、自分の伝えたいことが伝わっているかを確認する。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R6復習シート

【学年・単元】小学校6年生 国語（書くこと）

【参考URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198914/r6s6kokuq.pdf>

## ○ 指導上のポイント

読みやすく分かりやすい文章を書くために読点の位置を確認する指導

【読点の位置によって意味が変わることに気付く学習】



次の例文に読点を一つ入れて、意味を考えましょう。

例) わたしは全速力で逃げるおにを追いかけました。

A わたしは、全速力で逃げるおにを追いかけました。

B わたしは全速力で、逃げるおにを追いかけました。



AとBの文を読んでみてどう感じますか？

Aは、全速力なのはおにになり、Bだとわたしが全速力になると思います。

意味が違ってしまいます。



作文や授業中の自分の考えを書くときに気をつけて、読点の打ち方マスターになりましょう。

小学校学習指導要領（平成29年告示）

第1学年及び第2学年



読点については、①文頭の接続語などの後、②主語の後、③従属節の後、④並列する語の後など必要な個所に打つことを理解することが重要である。

第3学年及び第4学年

第1学年及び第2学年には加え、文を読みやすく、また、分かりやすくするために、文脈に合わせて読点を適切に打つことができるようになる。その際、⑤主語と述語の関係、⑥修飾と被修飾の関係、について理解することと関連付けて指導することが有効である。

【読点の位置と読点を打つ練習】

①文頭の接続語の後

例) だから、試合に勝った。

②主語の後

例) 母は、買い物に出かけた。

③従属節の後

例) 大雪が降ったので、学校は休みです。

④並列する語の後

例) 国語、算数、社会の順に学習します。

⑤主語と述語の関係

例) おばあさんは川へ洗濯に行き、おじいさんは山へ芝刈りに行きました。

⑥修飾と被修飾の関係

例) 私は全速力で、にげるおにを追いかけました。

⑦平がなが続くところ

例) ここではきものをぬいください。(読点の打つ位置によって意味が変わります)

※読点を打つ学習は、年度初めの国語の授業開きで行うと、年間を通して意識させることができます。また、推敲の学習の際にも活用することができます。

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

読点「、」の打ち方マスターになろう！

\*つぎのページから読点を打つ練習があります。  
どこに打てばよいでしょうか。全問正解できるかな？

\*例文の読点を打つ練習が終わったら、自分で問題を作りましょう。

\*問題を作り終えたら、友達と問題の出し合いをしましょう。

①～④までは、低学年で習った問題です。

読点の位置 ①文の最初のつなぎ言葉の後

読点を打つところに○を動かそう。

例文) だから ア 試合に イ 勝った。



クイズ

①～⑦の例文があります。どこに読点を打つかを考えます。青色のところを動かすと答えが出てきます。終わった人は、クイズの問題を作りみんなで解き合いましょう。



## 中学校 第1学年 国語 20 (2)

問題の学力のレベル  
レベル9-C

### ○ 調査問題

【20】  
山本さんのクラスでは、町内で働く様々な職業の方にインタビューし、その内容をまとめて発表することになりました。山本さんは町内の和菓子屋で働く和菓子職人の水井さんにインタビューをすることになり、事前準備の話し合いをしています。

(2)  
山本さんたちの【話し合いの様子】の内容をふまえて質問内容を整理しています。話し合いの内容にしたがって次の【質問内容の整理表】の空欄に、あとの選択肢から言葉を選んであてはめなさい。

【話し合いの様子】(スクロールできます)

山本: 水井さんに聞きたいことを、みなさんにお聞きもらいました。もちろん全て聞きたいのですが、インタビューの時間には限りがありますし、より良いインタビューにするために、質問を分類して整理し、不要なものは削りましょう。

月原: 質問者は、主に「仕事に関する質問」と「和菓子に関する質問」に分かれますね。今回は仕事に関するインタビューですので、和菓子そのものに関する質問は減らしてもいいのではないかと思う。

鳥田: そうですね。「今1番人気の和菓子」や「和菓子の魅力」については、実際には和菓子屋で働いている水井さんから聞いてみたいことですが、「和菓子と洋菓子のち

【選択肢】

<解答方法はこちら>  
・カードをクリックまたはタップしたあとに、空欄をクリックまたはタップするカードが移動します。  
・解答を選び直すときは、移動したカードをもう一度クリックまたはタップしてください。

【質問内容の整理表】

質問の種類	質問
仕事の内容に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な仕事の内容</li> <li>1日の仕事の流れ</li> </ul>
仕事をするうえで大切に思っていることに関する質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事をするうえで大切に思っていること</li> <li>仕事のやりがいを感じる瞬間</li> </ul>
和菓子に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>今1番人気の和菓子</li> </ul>
和菓子屋で働いている水井さんに関する質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな中学生だったか</li> <li>和菓子職人になろうと思ったきっかけ</li> </ul>
しない質問	

### ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 インタビューで質問したいこととして挙げられたものを整理するための表に選択肢を当てはめる。

【出題の趣旨】 インタビューの流れをイメージしながら質問を分類したり取捨選択したりする。

### ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 すべての空欄に、正しい選択肢を当てはめているもの	2 誤答 左記以外の解答	0 無解答
反応率	45.2%	52.1%	2.6%

- 正答率は、45.2%であった。5つの空欄のすべてに正しい選択肢を当てはめなければならないため、正答率が50%を切っているのではないかと考えられる。
- 主な誤答は、【しない質問】の【質問案】に「和菓子の魅力」や「仕事を選ぶこと」、「苦労することや大変だなと思うこと」を入れてしまっている。理由としては【話し合いの様子】の中では「わざわざ質問しなくてよいでしょう」と表現されているのを【質問内容の整理表】では【しない質問】としている。そのため、これらが同じ意味（同義）であると捉えられなかったと考えられる。
- 【質問案】（具体的な質問）をまとめたもの（抽象化）が【質問の種類】であることが捉えられていない。具体的な質問（文章、言葉）を分類する、まとめる、選ぶという学習を行う必要がある。

### ○ 復習シートとの関連

【出典】R2 復習シート

【学年・単元】 中学校1年生 話すこと・聞くこと

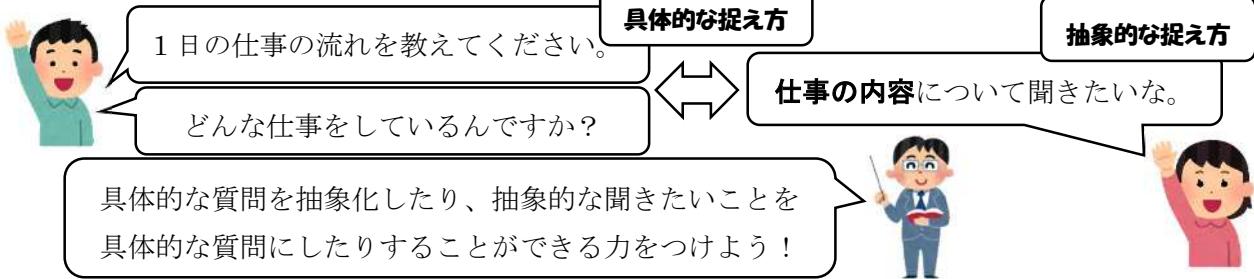
【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198939/r2c1kokuhanasukiku-all1.pdf>

## ○ 指導上のポイント

### インタビューメモを作る過程で「言葉の力」を身につけさせる指導

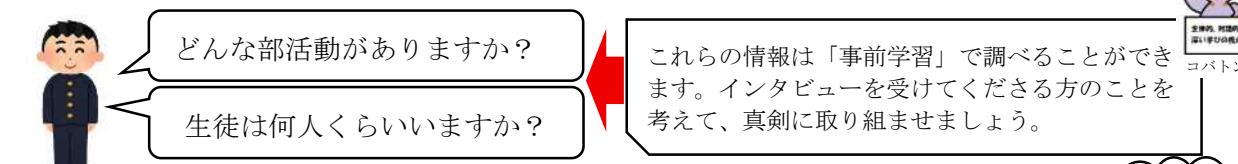
○インタビューで質問したいことを整理する学習

(1) インタビューでは、相手がどう答えるかによって、次の質問を考えなければならないため具体的な質問だけでなく、どんなことを聞き出したいのか抽象的に捉えておく必要もある。

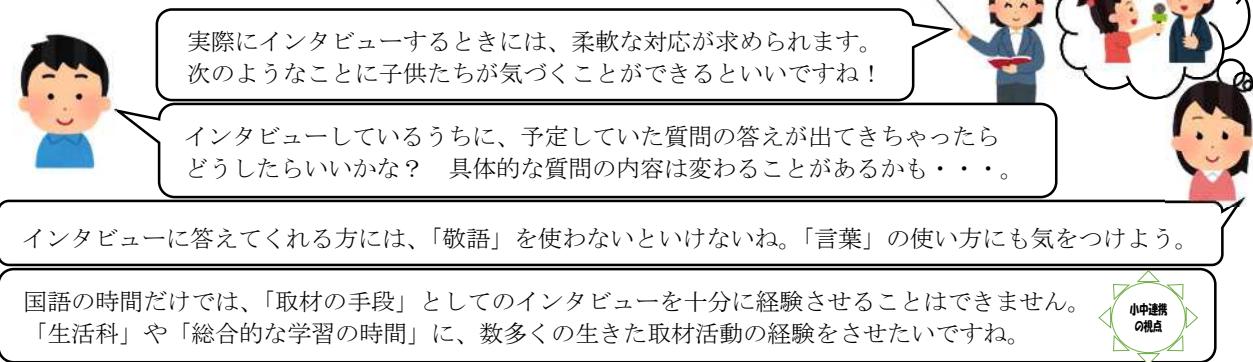


小中連携の視点 小学校低学年でも「上位語」「下位語」の学習をしています。また、説明的文章の学習でも「具体例」や「まとめ」を使って「具体」と「抽象」についても触れておくといいですね。

(2) 質問を取捨選択する。 → 事前学習、インタビューする相手のことを考える必要性

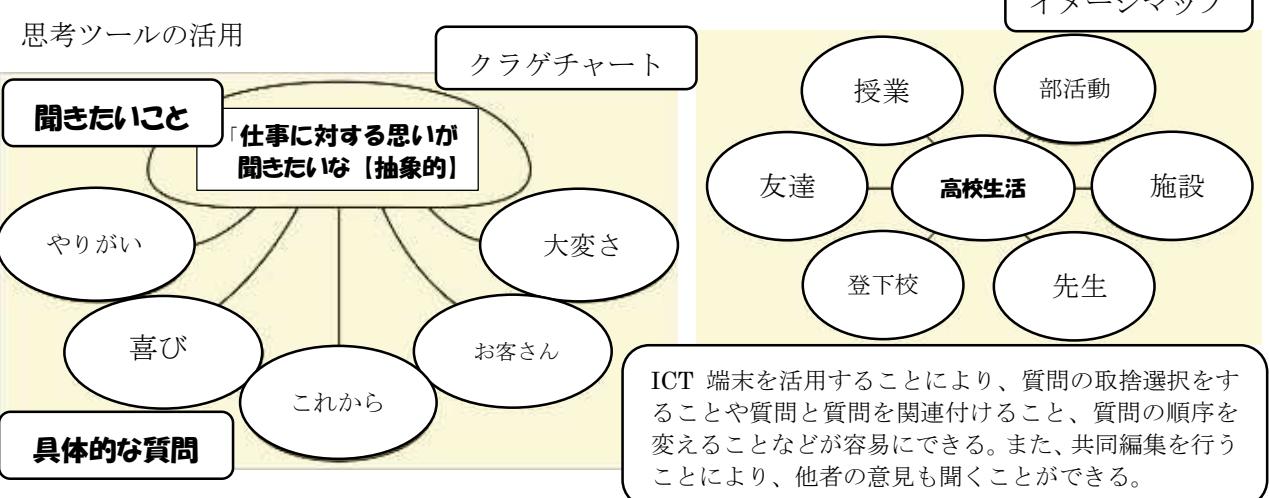


(3) 実際にインタビューすることを想定する。



## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

思考ツールの活用



## 中学校 第2学年 国語21 (1)

問題の学力のレベル  
レベル 11-A

### ○ 調査問題

[21]

次のホームページを見て、あとの問い合わせに答えなさい（ホームページの画面はスクロールできます）。

**第5回  
あさひ町 クリーンアップ大作戦**

**イベント概要**  
あさひ町をみんなできれいにしよう！

- ・4人1組でチームを作り、ゴミを拾いながら町を歩こう！
- ・集めたごみの種類や量に応じて点数をつけるよ！
- ・点数が高かったチームには、すてきな賞品をプレゼント！

**日時**：令和7年5月18日（日）  
13時～14時半

**集合場所**：あさひ町中央公園・円形広場

**参加資格**：あさひ町在住であること  
(小学生以下は保護者同伴)

**主催者挨拶** 吉永美知惠（NPO法人・環境アクションユニオン代表）

今この世界は、多くの問題を抱えています。地球温暖化・自然破壊・異常気象などのいわゆる環境問題は、その基盤と言えます。

「環境問題」というあまりにも大きなもの面前になると、小さな一人である私たちは、どうしても無力感を感じてしまいがちですが、こんな言葉を信じでしょか。「Think globally, act locally.」。日本語に訳すと「地球規模で考え、地域で行動を怠」となります。

私はこの問題、この考え方こそが、行動のための大きなヒントになると考えています。

たとえば、このクリーンアップ大作戦です。あさひ町のゴミを、みんなで拾う。このイベントの内容は、言ってしまえばそれだけです。環境問題に対する取り組みとして、それは一見、あまりにもささいな、取るに取れないこのように思われるかもしれません。

ですが、本当にそうでしょうか。

このイベントを通して、私たちはまず、同じ問題意識を持つ仲間と出会えます。その仲間はみんな、年齢も性別もバラバラですが、同じあさひ町に住む人たちです。町内に仲間が増えれば、自然とこの町にも愛着が湧いてくることでしょう。

ゴミを拾つたために町を歩けば、いろいろなことにも気がつきます。普段は行かないようなところに行けば、「こんなお店があったのか」「ここは景色がいいな」のような発見もあれば、「ここはちょっと歩きづらいな」「車が多くて危ないよ」といった気づきもあるでしょう。そのどれもが、この町についての理解を深めてくれます。

やがてあなたは、この町をもっとよくするためにできることはない、と考えるかもしれません。そのときあなたは一人ではありません。仲間たちがいるからです。だから、いっしょに考えましょう。どんな小さなことでもいいから、実行に移しましょう。問題意識は大きく、実践は身近から。そう、まさにこのゴミ拾いのようなことを。

そして、どうせやるなら、楽しくやりましょう。いくら良い目的があっても、つまらないことを続けるのは大変ですから。

そんな行動を積み重ね、仲間が増えれば増えるほど、やりたいこと、できることは増えしていくでしょう。その思いはやがて、この町を飛び出すかもしれません。町の次は市、市の次は県、国、そしていつかは世界というように。

そのとき、「Think globally, act locally.」は反転します。そう、「地域で考え、地球規模で行動する」となるのです。

さあ、一緒にこの町をきれいにしましょう！

(1)

地球規模で考え、地域で行動する とありますが、本文中で同じ内容を書いている部分を16字（句読点を含む）で探し、その部分の最初の5字を抜き出して入力なさい。

<解答欄>

### ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】キーワードとなる言葉を言い換えている部分を抜き出して入力する。

【出題の趣旨】文章中のキーワードとなる言葉の意味を正しく理解する。

### ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 問題意識は	2 その他の解答	3 無解答
反応率	22.5%	68.4%	9.1%

- 正答率は 22.5% だった。
- 主な誤答は、「地域で考え」と解答したものや、「あさひ町の」と解答したものであった。設問の下線部が「」でくくられているため、同じように「」でくくられているからと判断して解答したり、下線部付近にある 16 字のまとまり部分を解答したりと、内容で判断したのではなく、表現の仕方で判断したと考えられる。
- 主な誤答で挙げたもの以外の誤答は 47.1% と解答全体の半数近く、その誤答は多岐に渡っている。「地球規模で考え、地域で行動する」とはどういうことなのか内容を把握しながら、文章の役割（意見、根拠、具体例など）を考える指導を取り入れていく必要がある。

### ○ 復習シートとの関連

【出典】R3 復習シート

【学年・単元】中学2年 読むこと

【参考 URL】 <https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198939/r3c2kokuyomu-all.pdf>

-34-

## ○指導上のポイント

### 叙述を基に、文章の内容を捉える指導

**第5回 あさひ町クリーンアップ大作戦**

イベント概要  
あさひ町をみんなできれいにしよう！  
・4人1組でチームを作り、ゴミを拾いながら町を歩こう。  
・集めたゴミの種類や量に応じて点数をつける！  
・点数が高かったチームには、すてきな賞品をプレゼント！

日時：令和7年5月18日（日）  
13時～14時半  
集合場所：あさひ町中央公園・円形広場  
参加資格：あさひ町在住であること  
(小学生以下は保護者同伴)

主催者挨拶 吉永美知恵（NPO法人・環境アクションユニオン代表）  
今この世界は、多くの問題を抱えています。地球温暖化・自然破壊・異常気象などのいわゆる環境問題は、その筆頭と言えるでしょう。  
「環境問題」というあまりにも大きなものを前にすると、小さな一人である私たちは、どうしても無力感を覚えてしまいがちですが、こんな言葉をご存じでしょうか。「Think globally, act locally.」日本語に訳すと「地球規模で考え、地域で行動する」となります。  
私はこの言葉、この考え方で、行動のための大きなヒントになると考えています。  
たとえば、このクリーンアップ大作戦です。あさひ町のゴミを、みんなで拾う。このイベントの内容は、言ってしまえばそれだけです。環境問題に対する取り組みとして、それは一見、あまりにもささいな、取るに足りないことのように感じられるかもしれません。  
ですが、本当にそうでしょうか。  
このイベントを通して、私たちはまず、同じ問題意識を持つ仲間と出会えます。その仲間はみんな、年齢も性別もバラバラですが、同じあさひ町に住む人たちです。町内に仲間が増えれば、自然とこの町にも愛着が湧いてくることでしょう。  
ゴミを拾つたため町を歩けば、いろいろなこともあります。普段は行かないようなところに行けば、「こんなお店があったのに」「ここは景色がいいな」のような発見もあれば、「ここもちょっと歩きづらいな」「車が多くて危ないよ」といった気づきもあるでしょう。そのどれもが、この町についての理解を深めてくれます。  
やがてあなたたちは、この町をもっとよくするためにできることは何か？と考えるかもしれません。そのときあなたたちは一人ではありません。仲間たちがいるからです。だから、いつしょに考えましょう。どんな小さなことでもいいから、実際に移りましょう。問題意識は大きく、実践は身近から。そう、まさにこの「想い」から行動が生まれるのです。  
そして、どうせるために、楽しくやりましょう。いくら良い目的があっても、つまらないことを続けるくじは大変ですから。  
そんな行動を積み重ね、仲間が増えれば増えるほど、やりたいこと、できることは増えしていくでしょう。その思いはやがて、この町を飛び出しますかもしれません。町の次は市、市の次は県、県、そしていつかは世界というように。  
そのとき、「Think globally, act locally.」は反転します。そう、「地域で考え、地球規模で行動する」となるのです。  
さあ、一緒にこの町をきれいにしましょう！



文全体を読んで、段落の役割や段落相互の関係を考えてみましょう。

### ①文の構成に関する理解

基本的構成（序論・本論・結論）を明示し、それぞれの役割を把握することが大切です。



序論には「～でしょうか」「～を知っていますか」など問い合わせがあるね。

本論には「たとえば～」「一方で～」「理由は～」など事例や理由を示す言葉があるね。



これをまとめると、序論は話題の提示や問題提起をしていて、本論は対比させながら具体的な説明や理由を述べる役割があると言えるね。

### ②文と文のつながりに関する理解

「接続詞」「指示語」がつながりを示すサインになることを意識させることが大切です。



「そのどれも」とあるけど、何を指しているのかな。



この指示語は、「こんなお店があったのか」という発見や、「車が多くて危ないよ」という気づきを示しているね。



中学校では専門的な学習用語が使われ始めますが、決して初めて習うものばかりではありません。例えば、小学校で学ぶ「初め・中・終わり」という言葉を「序論・本論・結論」のように、同じ概念を更新する指導が必要になります。小学校での学びを足場にしつつ、専門的な概念へと意識的に橋渡ししていくことが大切です。「言葉の学びの更新」は、思考の枠組みの更新でもあります。

## ○指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

文章を共同編集し、他者の考えを1枚のシートにまとめる。



コバトン

今この世界は、多くの問題を抱えています。地球温暖化・自然破壊・異常気象などのいわゆる環境問題は、その筆頭と言えるでしょう。

「環境問題」というあまりにも大きなものを前にすると、小さな一人である私たちは、どうしても無力感を覚えてしまいがちですが、「こんな言葉をご存じでしょうか。」「Think globally, act locally.」日本語に訳すと「地球規模で考え、地域で行動する」となります。

私はこの言葉、この考え方こそが、行動のための大きなヒントになると考えています。

たとえば、このクリーンアップ大作戦です。あさひ町のゴミを、みんなで拾う。このイベントの内容は、言てしまえばそれだけです。環境問題に対する取り組みとして、それは一見、あまりにもささいな、取るに足りないことのように感じられるかもしれません。

ですが、本当にそうでしょうか。

このイベントを通して、私たちはまず、同じ問題意識を持つ仲間と出会えます。その仲間はみんな、年齢も性別もバラバラですが、同じあさひ町に住む人たちです。町内に仲間が増えれば、自然とこの町にも愛着が湧いてくることでしょう。

共同編集することにより、例えば、指示語に色を付け、その言葉が何を指しているかを明らかにしたり、接続詞に色を付けたりと、どこに視点を置いているかを共有することができる。また、根拠となった語尾や考えを言語化しながら読むことで、感覚的な読みを防ぐことができる。さらに、2画面にすることで別の班との比較も容易にできるため、多くの考えに触れることができる。

## 中学校 第3学年 国語20(3)

### ○ 調査問題

問題の学力のレベル  
レベル1 1-A

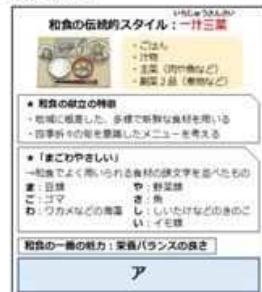
【20】

第一中学校では、今年、地域に住む外国人の方々と交流する「国際交流プログラム」を行うことになりました。

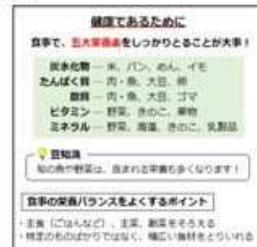
(3)

山田さんは、「和食の魅力を紹介する」を担当します。紹介の補助資料として、来場した人にプリントを作成して配布することにしました。まずは、日本語がわかる人に向けたプリントを作成します。次の【プリントの下書き】と【資料】を読んで、以下の間に答えなさい。

【プリントの下書き】



【資料】



問い合わせ

山田さんは、【プリントの下書き】の空欄に、【プリントの下書き】の他の部分や【資料】を参考にして、和食の栄養バランスの良さを説明する文章をいれようと考えています。あなたなら、どのような文章を書きますか。次の条件1・2にしたがって解答欄に入力なさい。

条件1 80字以上、120字以内で入力すること。

条件2 【プリントの下書き】に書かれている和食の特徴と【資料】の内容とを相互に関連づけながら、具体的に説明すること。

### ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】和食の栄養バランスの良さを説明する文章を、資料を参照しながら書く。

【出題の趣旨】複数の情報を適切に関連付けながら、説得力のある文章を書く。

### ○ 誤答分析

解答類型	1 正答	2 条件2を満たしているが条件1を満たしていないもの	3 条件1を満たしているが条件2を一部満たしていないもの	4 条件1を満たしておらず、条件2も一部満たしていないもの	9 その他の解答	0 無解答
反応率	28.3%	1.3%	27.5%	4.5%	20.9%	17.6%

- 正答率は28.3%であった。条件を全て達成する必要があるため難易度が高かった。
- 主な誤答は、複数の資料の情報を関連付けられなかったことにより、条件を満たすことができなかつたことによるものである。資料が複数あるにも関わらず、いずれかの内容しか引用できていない解答が多かった。問題文を適切に読み取れていないことも考えられる。
- グラフや表、資料などを読み取り、複数の情報を関連づける力が必要である。「読むこと」や「話すこと」の単元でも意識的に取り上げ、指導することが重要である。

### ○ 復習シートとの関連

【出典】R7復習シート

【学年・単元】中学校3年生 書くこと

【参考URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198939/r7c3kokuj.pdf>

## ○ 指導上のポイント

複数の情報を適切に関連付けながら、説得力のある文章を書く指導

資料 A



今日は、「読書週間」に向けて、ポスターを作成したいと思います。学校に掲示しますので、情報を関連付け、整理して後輩に向けて、わかりやすいポスターを作成していきましょう。



二つの資料があるので、それを関連付けて、資料Aの「読書の魅力」を伝える文章をポスター案のところに作成してほしいと思います。

資料のどの部分を使うと良いかグループで考えましょう。



資料Aに書かれている読書の魅力で何を取り上げると良いかな。



資料Bの「読書をする理由」に、資料Aと似ている内容もあるね。資料Aには「読書の効果」として「視野が広がる」とあるけれど、これは資料Bの「新しいことを学びたいから」に繋がるよね。

複数の資料を関連付けるときには、小学校でも「似ているところ」や「違うところ」など分類してきたね。どのようにすると魅力が伝わるか、みんなで話し合いながら考えてみよう！

「読書の魅力」

○ 読書における効果 ○ 様々なジャンル

- 1 知識力 UP！  
・語彙力アップ  
・読み解き力・思考力向上  
・視野が広がる！
- 2 想像力 UP！  
・集中力があがる  
・アイデアを生み出す力
- 3 共感力 UP！  
・将来のヒント

- ・ミステリー
- ・ファンタジー
- ・歴史小説
- ・科学、実用書
- ・伝記

資料 B

「○○中学校読書アンケート」

1 好きな本のジャンルはなんですか。

- 1位 恋愛小説
- 2位 ファンタジー小説
- 3位 ミステリー小説、ホラー小説

2 読書をする理由はなんですか。

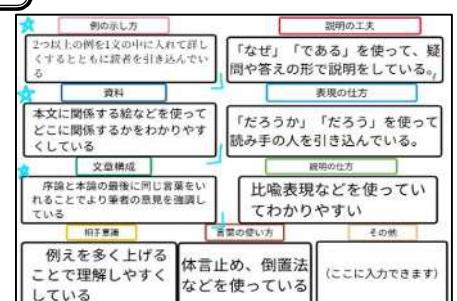
- ・その本を楽しみたいから。
- ・新しいことを学びたいから。
- ・語彙力が高まるから。

<ポスター案>



## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

話合いの際にICTを使用し、共同編集でグループの話合いの様子を可視化する方法が考えられる。また、クラス内で、互いにその画面を共有することができると、自分たちだけでなく、複数の考えを取り入れることができるために、考えの深まりが期待できる。

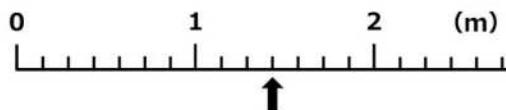


## ○ 調査問題

【3】次の問題に答えましょう。

(2)

次の数直線の「↑」の目もりが表す長さは何mですか。下の解答らんの中から1つ選びましょう。



&lt;解答らん&gt;

- $\frac{10}{7}m$   1.3m   $\frac{10}{19}m$    $\frac{3}{7}m$

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】数直線の目盛りが表す長さとして適切なものを選ぶ

【出題の趣旨】数直線に表した分数を読むことができる

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 $\frac{10}{7}m$	2 1.3m	3 $\frac{10}{19}m$	4 $\frac{3}{7}m$	9 その他 の回答	0 無解答
反応率	13.8%	72.4%	2.8%	10.1%	0%	0.9%

○ 正答率は13.8%であった。

○ 主な誤答は、1.3mであった。理由としては、↑が示している部分が1mから右に3目盛り目にあることから、1目盛りが表す長さを0.1mと捉え、「1.3m」と答えたと考えられる。

○ 1目盛りが表す大きさを十分に考察できていないことや単位分数がいくつ分かという見方が十分に理解できていないことが原因として考えられる。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R7 復習シート 【学年・単元】小学4年生 数と計算

【参考URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198937/r7s4sanq.pdf>

## ○ 指導上のポイント

### 「単位分数」の考え方を基盤とし、系統性を意識した指導

1. 「1目盛りが表す大きさがいくつか」という問い合わせを他学年でも大切に指導する。

#### 第2学年「100より大きい数」

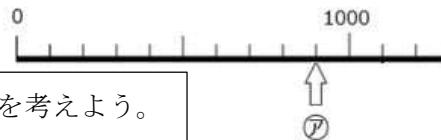
問題 ⑦のめもりが表す数はいくつですか。



いちばん小さい1目盛りがいくつを表しているかを考えよう。



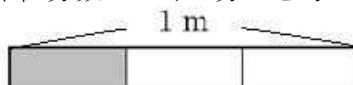
0と1000の間に10等分されているから…



2. 「単位分数をもとにした考え方」を大切に指導する。

#### 第3学年「分数」

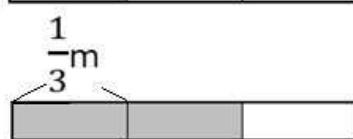
○単位分数のいくつかを考えられるようにする。



「単位のいくつ分」という視点を生かし、児童が統合・発的に考える声掛けをしましょう。

もとにする長さは1m

1mを3等分した1つ分の長さは $\frac{1}{3}$ mです。

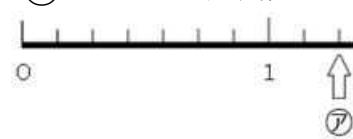


$\frac{1}{3}$ mの2つ分なので、 $\frac{2}{3}$ mです。

もとにする長さは $\frac{1}{3}$ m

○分母より分子の方が大きい場合も正しく分数で表せるようにする。

問題 ⑦のめもりが表す数はいくつですか。



いちばん小さい1目盛りは…



分母より分子の方が大きくても、 $\frac{1}{7}$ の9つ分で $\frac{9}{7}$ と表すことができます。



数学で、文字式や係数を表す際にも分数が頻繁に用いられます。小学校段階では、分数のさまざまな表し方について考えられる機会を作りましょう。

$$\frac{x}{40} - \frac{y}{50} = 2$$

$$\frac{3}{2}a + b$$

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

算数は、系統性を生かせる教科です。それ故に、その単元で働かせた見方・考え方を、他の単元でも生かすことが重要です。大切な数学的な見方・考え方やこれまでの板書などをまとめて、クラウド上に記録しておくと、児童が既習内容を振り返る際に便利です。

例えば、3年生の「分数」の単元で同分母分数の計算を指導する際には、以前学習した「大きな数」や「小数」などの内容を振り返られるようにしておくとよいでしょう。

- 11 大きい数のわり算、分数とわり算
- 12 円と球
- 13 小数
- 14 重さのたんいとはかり方
- 15 分数

クラウド上にフォルダを作る



### 13 小数

- ・10等分した1つ分を0.1という
- ・1Lより少いときは、0.1Lをもとにして0.1Lが何こ分あるかで表せる
- ・今までcmとmmのように2つのたんいを使っていた長さも小数を使えば、1つのたんいで表せる。
- ・0.2+0.3は、0.1をもとになると、2+3で考えられる。



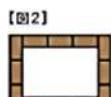
フォルダ内にはその単元で働かせた見方・考え方をまとめたものや授業の板書などを記録して児童がいつでも振り返られるようにしておく。

## ○ 調査問題

【7】次の問題に答えましょう。

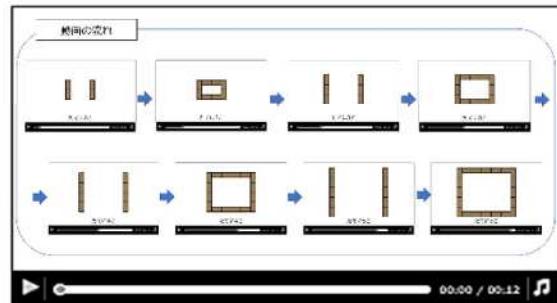
(1)

Aさんの学校で、同じ形のレンガを長方形にならべて花壇を作ることになりました。図1のように、レンガをたてに2つならべたとき、横向きのレンガを2つならべて長方形を作ります。また、図2のように、レンガをたてに3つならべたときは、横向きのレンガを3つならべて長方形を作ります。



動画のようにたてのレンガの数を増やして、いろいろな大きさの長方形の花壇を作ります。たてにならぶレンガの数と全体のレンガの数の関係を表に表すと次のようにになります。

たてにならぶレンガの数(個)	2	3	4	5	…
全体のレンガの数(個)	8	12	16	20	…



たてにならぶレンガの数が14個のとき、全体のレンガの数は何個ですか。答えを入力しましょう。

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】レンガでつくった花壇について、レンガの縦に並ぶ個数から全体のレンガの個数を求める。動画を使用

【出題の趣旨】伴って変わる2つの数量の関係から数量を求めることができる

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 56(こ)と解答	9 上記以外の解答	0 無解答
反応率	53.2%	38.0%	8.8%

- 正答率は53.2%であった。
- 主な誤答は、①112、②28、③196であった。理由としては、①表の最初に書いてある「全体のレンガの数」である8を14倍した、②表の最初に書いてある「たてにならぶレンガの数」である2を14倍した、③周りの長さと面積とを混同して考えており、花壇を正方形として捉えて $14 \times 14$ をしたということ考えられる。
- 伴って変わる二つの数量の間の関係が正しく読み取れていないことが原因として考えられる。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R5 復習シート

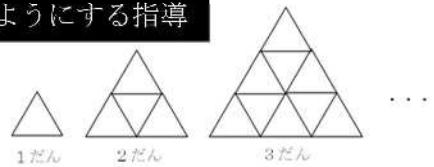
【学年・単元】小学校5年生 変化と関係

【参考URL】[https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198937/r5s5sansuu\\_q\\_3henka.pdf](https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198937/r5s5sansuu_q_3henka.pdf)

## ○ 指導上のポイント

伴って変わる二つの量の関係に着目し、きまりを見つけられるようにする指導

問題 1辺が1cmの正三角形をならべて、次のような形を作ります。20だんのときのまわりの長さは何cmですか。



①伴って変わる二つの数量は何かを確認し、変化の様子を捉えやすくするためには表で表すとよいことを確認する。



20だんまで正三角形を並べてかくのは大変だな。

1段の時の周りの長さは3cm、2段の時は6cm…、何かきまりがありそうだね。段の数と、周りの長さの変わり方にはどんな関係があるのか調べたいな。



変わり方の関係やきまりを見つけやすくするには、何を使って考えるとよいですか。



表に整理すると見つけやすくなると思います。



主導的、対話的で深い学びの視点  
コバトン

②表の数値を、横や縦に関連付けてみようとする態度を育てる。

だんの数□(だん)	1	2	3	4	5	6	…
まわりの長さ○(cm)	3	6	9	12	15	18	…

$+1 +1 +1 +1 +1$   
 $+3 +3 +3 +3 +3$   
 $\times 3 \times 3 \times 3 \times 3 \times 3$

だんの数□(だん)	1	2	3	4	5	6	…
まわりの長さ○(cm)	3	6	9	12	15	18	…

周りの長さが、段の数が1段増えるごとに、3cmずつ増えています。



3ずつ増える理由を表と図とつなげて考えさせることで、5年生の比例につなげていきましょう。

それぞれ、表をどのようにみたら変わり方の関係やきまりが見つけられましたか。



表を横に見ると、周りの長さは3cmずつ増えていることが分かります。



表を縦に見ると、段の数を3倍したら周りの長さになっていることが分かりました。



矢印などを使って「+3」や「×3」を書きこんでいくと、関係が分かりやすくなるね。



このきまりを使ったら、20段の時の周りの長さも簡単に求められそう。



きまりを使って周りの長さを求められるよう、段の数と周りの長さの関係を式に表してみましょう。

③単元を通して和・差・商が一定となる事象を取り上げ、表のいろいろな見方ができるようにしていく。



変化の特徴を見いだすために、表の様々な見方を経験させることや式等を用いるとよいことを学習し、中学校の比例、反比例の学習の素地を養うことへつなげていきましょう。

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

表に、見つけた関係性を書き込ませ、それを共有することで、表の様々な見方を広める。

だんの数□(だん)	1	2	3	4	5	6	…
まわりの長さ○(cm)	3	6	9	12	15	18	…
	+3	+3	+3	+3	+3	+3	

## ○ 調査問題

【8】次の問題に答えましょう

(2) 3個の植木ばちにさいた、あさがおの花の数をそれぞれ調べたところ、9個、7個、5個でした。10個の植木ばちに、同じようにあさがおの花がさいたとすると、10個の植木ばちには、全部でおよそ何個あさがおの花がさくと考えられますか。

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】平均を求めることで、花の個数を予想する

【出題の趣旨】平均を求めることで、全体の量を予測できることを理解している

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 70個と解答	2 72個と解答	3 7個と解答	4 左記以外の解答	0 無解答
反応率	25.4%	3.4%	10.3%	42.0%	18.8%

- 正答率は25.4%だった。誤答を分析すると、求めた平均を活用することに課題が見られた。求めた平均の活用の仕方を授業で取り扱う必要がある。
- 72個と解答した児童は、問題文に提示された $(9 + 7 + 5)$ が4鉢目～9鉢目も続くと考えた。式にすると、 $(9 + 7 + 5) \times 3$ となる。しかし、これでは9鉢目までしか考えていないこととなるので、最初にでてきた植木鉢に咲いたあさがお9個をたした、 $(9 + 7 + 5) \times 3 + 9$ と考えたと思われる。7個と解答した児童は、問題文に提示された $(9 + 7 + 5)$ から植木鉢3個の平均7を求めそのまま平均値を解答したと思われる。
- 上記以外の解答として、①210個 ②21個 ③30個 ④63個といったものが見られた。①は問題文に提示された $(9 + 7 + 5)$ で求められた21を10倍したものと考えられる。また、②はそのまま21をそのまま解答したものと思われる。③は問題文に提示された植木の数3個と10個に注目し、 $3 \times 10$ をしたと思われる。④の63個は問題文に提示された $(9 + 7 + 5)$ が4鉢目～9鉢目も続くと考えた。この組み合わせを崩せないため、10鉢目を考えず $(9 + 7 + 5) \times 3$ の答えを解答したと考えられる。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R 6 復習シート 【学年・単元】小学校6年生 算数（データの活用）

【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198937/r6s6sanq.pdf>

## ○ 指導上のポイント

### 平均を求め活用するための指導

問題 ひかるさんが3日間に飲んだ牛乳の量を調べたら、月曜日 420mL、火曜日 350mL、水曜日 520mL でした。1週間同じように飲むとすると、1週間で何mL牛乳を飲むことになりますか。



①問題文で気になることはありますか。

自力解決での困りごとや考えていることを問う



②そもそも月曜日、火曜日、水曜日で同じ量を飲んでいないのに、同じように飲むってどういうことですか。



③確かに、同じ量を飲んでいないのに、同じように飲むってどういうことでしょうか。そこも考えながら問題を解いてみましょう。



④これが1週間でなく6日間だったらよかったです。6日間なら、月、火、水と同じように木、金、土も飲んだと考えて、 $(420 + 350 + 520) \times 2$ で求められるからです。

⑥350～520mLの間だと思います。



⑦3日間の平均の値にするのが一番いいんじゃないかな。



⑧どうして、平均の値がいいと思ったのですか。



主体的、対話的で深い学びの視点  
コバトン

⑨同じように飲んだというのが、毎日同じ量飲んだって考えるのがいいのかなと思いました。350mLだと少なすぎるし、520mLだと多すぎるるので、平均がいいと思いました。



⑩3日間の平均を求めると、1日の平均が430mLです。430mLを7日間毎日飲んだと考えると、同じように飲んだと言えると思います。



平均やこの後学習していく、単位量あたりや割合などは比例が内在していることが前提となっています。これらの単元を理解していくうえで、比例を明らかにすることが重要です。

### ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

液量の問題なので、児童に右のようなマス図を1人1台端末に配信し、自由に活用できるようにすることで、図を活用して、問題を解決したり、説明したりする力を高める。



## ○ 調査問題

【1】次の問い合わせに答えなさい。

(11)

バニラ、チョコ、イチゴ、キャラメルの4種類のアイスがあります。この中から3種類を選んで1つのカップにのせます。アイスの種類の組み合わせが全部で何通りあるかを、次の解答らんの中から1つ選びなさい。

&lt;解答らん&gt;

 3通り  4通り  12通り  24通り

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】場合の数の組み合わせとして適切なものを選ぶ

【出題の趣旨】起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる

## ○ 誤答分析

解答類型	1 3通りと 解答	2 正答 4通りと 解答	3 12通りと 解答	4 24通りと 解答	9 上記以外 の解答	0 無解答
反応率	7.1%	<b>28.7%</b>	43.4%	20.3%	0.0%	0.5%

- 正答率は28.7%であった。この問題について、コーンで頼んだ時とカップで頼んだ時の違いに触れながら、「落ち」や「重なり」がないように順序よく筋道を立てて調べる力を育成したい。必要に応じて「4種類から3種類を選ぶ」は「4種類から1種類を選ばない」という考え方も指導する事もできる。
- 主な誤答は12通りで、半数弱がこの解答をしたことになる。理由としては、2つ考えられる。1つ目は4種類のアイスの「4」と3種類選ぶの「3」という数字をかけ算し、 $4 \times 3$ で導き出したと考える。2つ目はバニラを先頭にした組合せが3通り、先頭が4通りあるので、 $3 \times 4$ で導き出したと考えられる。
- 24通りの誤答の生徒は、樹形図等を用いて起こり得る全ての場合を明らかにできたが、「重なり」を見落としてしまったと考えられる。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】 R 6復習シート

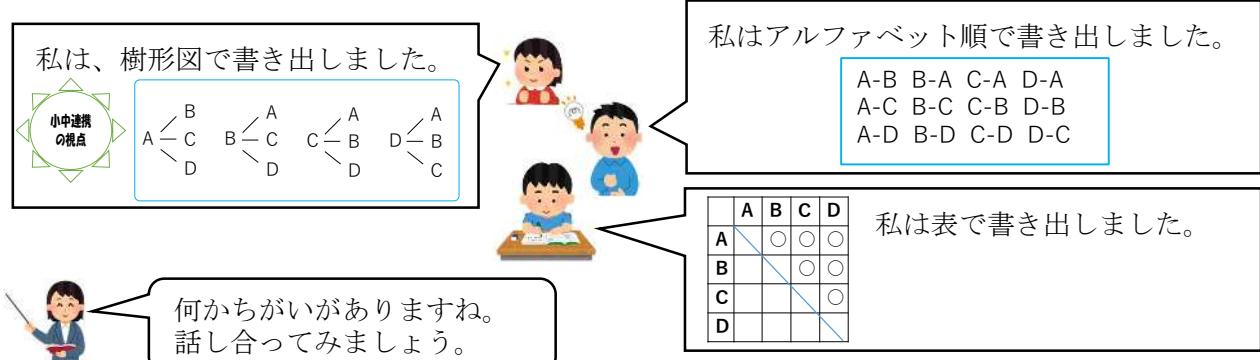
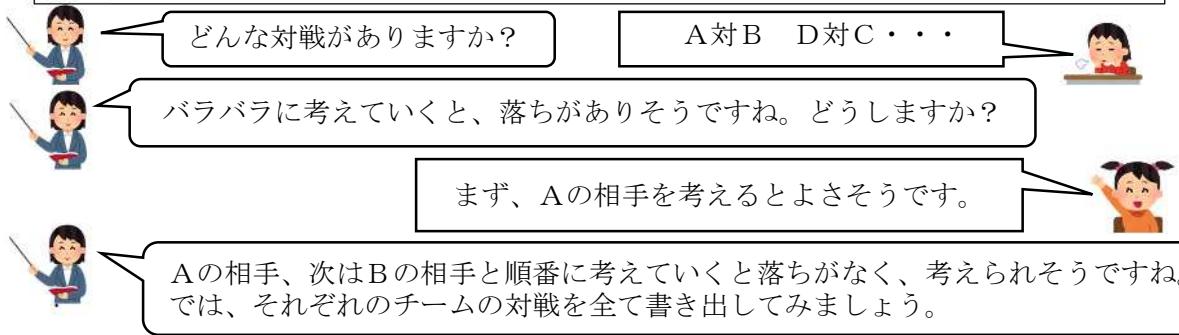
【学年・単元】中学校1学年 数学 データの活用

【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198940/r6c1suuq.pdf>

## ○ 指導上のポイント

起こり得る全ての場合を明らかにし、「落ち」や「重なり」がないかに着目させる指導

問題 A、B、C、Dの4つのチームでサッカーの試合をします。どのチームも、他のチームと1回ずつ試合をするとき、対戦は全部で何通りですか。また、全ての対戦を書きましょう。

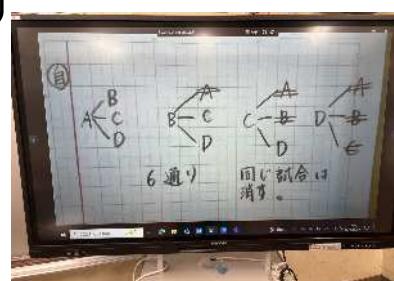


今日考えたように「落ち」や「重なり」がないかに注意することが大切です。

コバトン

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

- ・樹形図や図・表などを用いて生徒がまとめた方法を全体で共有する。
- ・ノートを拡大することで、全体に説明するときも、見やすく、説明も容易である。
- ・大型画面を見ながら、友達の考えをノートに書くこともできる。



## ○ 調査問題

【5】

大縄跳びの練習をするにあたり、並び方を2列にするか3列にするか検討することにしました。

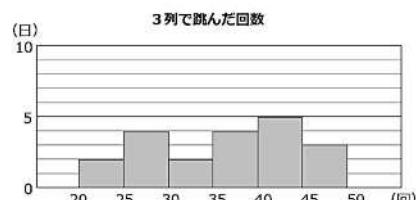
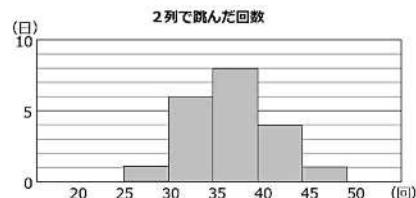
どちらの並び方がより多く連続で跳べるかを調べるために、それぞれの並び方で20日間練習し、1日の最高記録を右のヒストグラムにまとめました。

ヒストグラムの特徴をもとに、より多く跳べそうな並び方を選ぶとすると、あなたならどちらの並び方を選びますか。どちらか1つの並び方を選び、選んだ理由を、2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。

&lt;解答欄&gt;

 2列  3列

※説明入力欄省略



## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】ヒストグラムをもとに、どちらの並び方がより多く跳べるか選び、選んだ理由について説明する。

【出題の趣旨】データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

## ○ 誤答分析

<正答の条件> 2つのヒストグラムを比較して、次のことについて記述しているもの。(一部省略)

【2列を選択した場合】2列について、次の(a)、(b)、(c)のいずれかを記述しているもの。

- (a) 最小値が大きいこと (b) 35回(30回、25回)未満の度数の合計が小さいこと  
(c) 平均値が大きいこと

【3列を選択した場合】3列について、次の(d)、(e)のいずれかを記述しているもの。

- (d) 40回(45回)以上の度数の合計が大きいこと (e) 最頻値の階級が大きいこと

解答類型	1正答	2正答	3正答	4正答	5	6	9 左記以外 の解答	0 無解答		
	2列を選択		3列を選択		2列または3列を選択					
	a、b、cのいずれかを記述しているが、2つのヒストグラムを比較する記述が不十分	a、b、cのいずれかを記述しているが、2つのヒストグラムを比較する記述が不十分	dかeを記述	dかeを記述しているが、2つのヒストグラムをする記述が不十分	左記 1~4以外 でヒストグラムから読み取れることを記述	ヒストグラムについての読み取りの誤つて記述				
反応率	3.8%	1.9%	11.2%	1.4%	41.4%	2.2%	30.8%	7.3%		

- 正答率は18.3%であった。
- 主な誤答は、ヒストグラムを根拠にした説明が適切でないものや、読み取りの誤りであった。理由としては、説明の根拠として代表値の特徴を正しく扱えていないことや、ヒストグラムから代表値を正しく求められていないことが考えられる。
- 解答類型9は、ヒストグラムについての記述がないものや、解答方法の誤りによるものであった。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R 4 復習シート 【学年・単元】中学校2年生・データの活用

【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198940/r4c2suum-data-all.pdf>

## ○ 指導上のポイント

### データの傾向を読み取って考察し、判断した理由を説明できるようにする指導

問題 大縄跳びの練習で、並び方を2列にするか3列にするか検討しています。それぞれの並び方で20日間練習し、1日の最高記録を右のヒストグラムにまとめました。より多く跳ぶために、あなたならどちらの並び方を選びますか。

(1) 現時点での考えを確認する。



今の考えをタブレットで回答しましょう。



ヒストグラムが右に寄っているから、2列にしよう。

(2) 個人 → 2列・3列各々の小グループで考察する。



選んだ理由について詳しく調べて、説明してみましょう。

【個人】



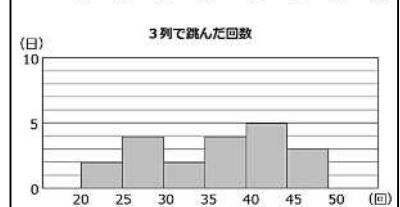
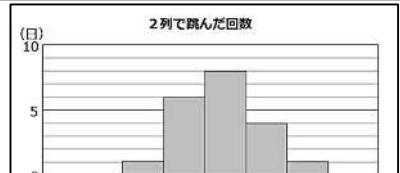
平均値を求めてみると…



最頻値の階級は3列の方が大きいから…



調べてみて、はじめの考えを変えてもいいですよ。



【グループ】



最小値も、平均値も、3列よりも2列の方が大きいね。



40回以上跳んだ日数は、2列よりも3列の方が3日も多いよ。

(3) グループ間で説明し合う。



平均値を比べると、3列よりも2列の方が大きいので、2列を選びました。



最頻値の階級を見てみると、2列よりも3列の方が大きいから、3列を選びました。



2列の方にも納得できる理由があるから、どちらを選んでもいいのかもしれない！



主導的・対話的で深い学びの視点  
コバトン

日常の場面を課題として設定することで、課題解決の必要感が出てきます。

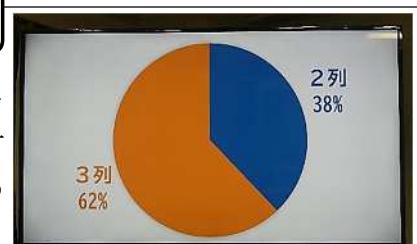
また、グループ活動で個人の考えを共有・比較することで、根拠をもとに考えを分かりやすく伝える力が育れます。



小学校では、平均値、中央値、最頻値などの代表値やドットプロットを用いて、データを統計的に考察・表現しています。中学校では、目的に応じて合理的・能率的にデータの収集・処理をするために、ヒストグラムや相対度数を活用します。

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

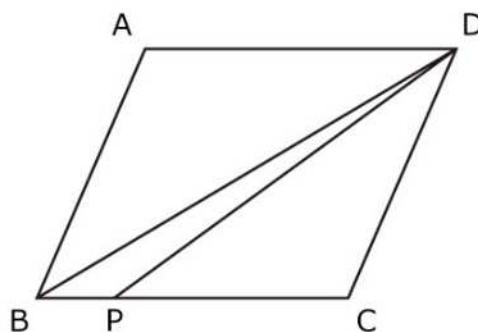
授業の導入時に、2列、3列のどちらを選ぶかを回答・集計することで、全体の考えをつかむ。また、どちらを選んだかとその理由を一覧にすることで、説明の根拠となるさまざまな数学的表現を共有することができる。



## ○ 調査問題

## 3 次の問い合わせに答えなさい。

(2) 下の図のように、平行四辺形ABCDの辺BC上にBP : PC = 1 : 3となるような点Pをとります。平行四辺形ABCDの面積が  $120\text{cm}^2$  であるとき、 $\triangle BPD$ の面積を求めなさい。



## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】平行四辺形の性質を利用して、三角形の面積を求める

【出題の趣旨】平行四辺形の性質を用いて、面積を求めることができる

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 $15\text{cm}^2$	2 $20\text{cm}^2$	3 $30\text{cm}^2$	4 $45\text{cm}^2$	9 その他の解答	0 無解答
反応率	19.3%	11.9%	10.9%	0.7%	33.4%	23.7%

- 正答率は 19.3% であった。
- 主な誤答のうち、解答類型 2 は、 $20\text{cm}^2$  と解答しているものである。これは三角形DBCの面積  $60\text{cm}^2$  を、底辺比  $1 : 3$  であることを勘違いして  $1/3$  にしたものであると考えられる。また、解答類型 3 の  $30\text{cm}^2$  と解答したものについては、BP : PC = 1 : 3 であることのみを考えて、全体の面積  $120\text{cm}^2$  を  $1/4$  にしたものと考えられる。
- 無解答が 23.7% もり、これは平行四辺形の性質を覚えていない、もしくは、高さの等しい三角形の面積の比はその底辺の比に等しいことをわかつていないことが考えられる。解答類型 9 では、 $40\text{cm}^2$  と解答しているものが最も多かった。これは BP : PC = 1 : 3 であることのみを考えて、全体の面積  $120\text{cm}^2$  を  $1/3$  にしたものと考えられる。

## ○ 復習シートとの関連

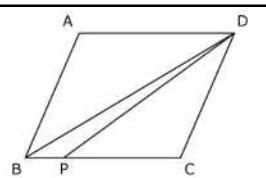
【出典】R 1 復習シート 【学年・単元】中学校3年生 図形

【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198940/h31c3suum-zukei-all.pdf>

## ○ 指導上のポイント

### 数学的な見方・考え方を働かせる指導

問題 右の図のように、平行四辺形A B C Dの辺B C上に  
 $B P : P C = 1 : 3$ となるような点Pをとります。  
 平行四辺形A B C Dの面積が  $120\text{cm}^2$ であるとき、  
 $\triangle B P D$ の面積を求めなさい。



課題 辺の長さがわからない図形の面積は、どのように考えたら求めることができるだろうか。



先生がまずは問題を解きます。  $1 : 3$ だから  $120\text{cm}^2$ を4で割って  $20\text{cm}^2$ でよいですか。

先生と同じ！  $20\text{cm}^2$ になりました。

$120 \div 2 = 60$ 、  $60 \div 3 = 20$  になるから！



いや、  $20\text{cm}^2$ じゃないと思う。



やってみよう。



いろんな解答がでてきたからグループで相談してみよう。

平行四辺形は対角線で面積が半分  
 になるから



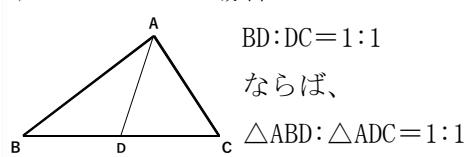
三角形の面積は底辺と高さがわかれれば求め  
 られるけど、底辺がわからないから・・・

うーん、わからないからわかつて  
 いることを図にかいてみよう。

三角形の底辺の比が  $1 : 3$  であることを使っ  
 てみたらどうだろう・・・

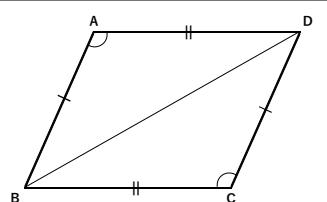
○学級や個々の進捗状況を見ながら、必要に応じて以下の例を提示する。

底辺比  $1 : 1$  の場合



平行四辺形を対角線

で2つの三角形に分  
 けると合同な三角形  
 になる



答えは何でしたか？先生は合っていたかな。理由つきで説明しよう。

先生は間違っています。面積の比を  
 考えるときに勘違いしています。



答えは  $15\text{cm}^2$ ！底辺の比が面積の  
 比に等しいところがポイントです。



まとめ 図形の性質を利用することで、直接求められない面積を求められることがある。



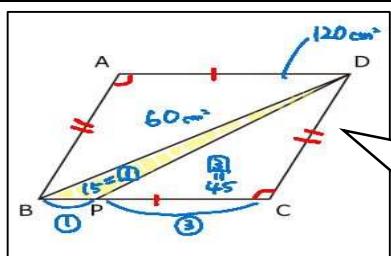
話し合いの中で、既習の知識と関連  
 付けることで、理解が深まります。

コバトン



小学校で学んだ三角形の面積の求め  
 方を発展させ、長さがわからなくても  
 比で求められる良さを感じることができます。

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について



あらかじめ問題の図形を生徒一人一人の端末に  
 配布しておき、自己解決の時間やまとめの時間に  
 等しいところに生徒が色をつけたり、全体発表で  
 表示させたりする。

## ○ 調査問題

【10】

あなたは、英語の授業で、クラスの友達と先生に自身のことを知つてもらうために自分の趣味についてのスピーチをすることになりました。

聞き手に分かりやすい展開や構成となるように、下の5つの英文を適切な順序に並べて、スピーチ原稿を完成させなさい。

&lt;解答欄&gt;

- ① I can read a lot of books there. I like adventure books\*. They are very exciting.
- ② I like science books\*, too. I love nature\*. I want to be a scientist\* in the future.
- ③ Do you know any interesting books? Please tell me about them. Thank you.
- ④ I always go to the library. The library is my favorite place\*.
- ⑤ Hello, everyone. Today, I talk about my hobby. I like books.

&gt;

(注)\* adventure books: 冒険小説 science books: 科学書  
nature: 自然 scientist: 科学者 place: 場所

&lt;解答方法はこちら&gt;

- 左の選択肢をクリックまたはタップすると、右の解答欄に並べ替えができます。
- 右の解答欄の中で、上下を入れ替えることもできます。

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】クラスの友達と先生に向けた自分の趣味についてのスピーチ原稿を読み、スピーチ原稿のパラグラフを適切な順番に並び替える。

【出題の趣旨】日常的な話題について、話し手として伝えたい順番や聞き手に分かりやすい展開や構成を考えてスピーチをすることができるかどうかを見る。

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答 ⑤④①②③	9 その他の解答 ⑤②①④③(22.0%) / ⑤①②④③(20.9%) / ⑤②④①③(9.8%)	0 無解答
反応率	25.6%	1.5%	72.9%

- 正答率は 25.6% であった。誤答をした生徒のうち、約 7 割は ⑤ "Hello, everyone." から始まり、③ "Thank you." でスピーチを締めくくるということに気づくことができたが、①②④ の並べ替えで誤ってしまった。
- 誤答の原因としては、⑤ の段落でいさつをした後、② "I like ~." や ① "I can ~." といった文法を用いて自分自身の話題を分かりやすく提示している文を選んだことが考えられる。
- この設問に正答するためのポイントは、① there が何を指しているか、② too は何を受けて「～もまた」と言っているのかといった代名詞や副詞の指導を充実させることや、文の構成に意識を向かせることが大切だと考えられる。

## ○ 指導上のポイント

### 他者と協働する活動を通して、情報を整理して英文の構成について理解を深めさせる指導

教員が3～4つ程度の課題を設定し、生徒たちがその特定の課題を分担し、課題解決に向かって話し合いを進めていく学習である。自分に与えられた課題の理解や、他者と協働する場面で話し合いの内容をより深めるために、この活動は日本語で行うことが望ましいと考える。以下、①②の手順で行う。

①ある人物の自己紹介文を段落ごとに分割（A～D）し、生徒は自分に割り当てられた段落の内容の理解を、同じ段落を割り当てられている他の生徒との会話や協働を通して深める。



どんな内容や言葉に注目すれば、話し手として伝えたい内容が聞き手にとって分かりやすい展開になるでしょうか。

(A) この文は”Hello～”とあいさつから始まっているから最初の段落かな？



(C) ”I like science books, too.”って書いてあるね。”too”はポイントになりそう。



(C) ”too”「～も」ってことは、他に好きなものの話をしているのかな。

(B) ”there”は場所のはずだね。



②A～Dまでの分割された段落担当の生徒が1人ずつ集まり、他の生徒との対話や協働を通して正しい順番に並べ替える。必要に応じて教員が中間指導を入れる。

(C) 「理科の本“も”好きって書いてあるんだけど、他に好きなものの話をしている文はある？」



(B) 冒険の本が好きって書いてあるよ。

文の順序をあらわす単語や、代名詞の言葉の働きについて考えてみよう。

(B) ”there”はどんな場所の話をしているのかな？

(D) 図書館の話をしているよ！

以上のような活動を行うことで、スピーチ原稿の構成の理解を深めるとともに、この設問の誤答の要因となった副詞や代名詞の言語の働きへ意識を向ける指導につなげることができる。



小学校での話すこと〔発表〕の目標（小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 P.23）

に書かれているように、話し手は聞き手（第三者）の前で発表することを踏まえ、話し手本人が話す内容を想起し、発表内容を明らかにする必要があります。聞き手にとって分かりやすい情報を伝えられる文の構成ができるよう、小学校から継続して指導していくことが必要です。



英語を読んで理解した内容を自分の言葉で表現し、お互いの情報を持ち合いながら論理的に話し合いを進めます。グループの中でコミュニケーションを取りながら活動を行うことで、一人では気づくことのできなかったことにも気づくなど、視野を広げることができます。

## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

- 1 グループ（ペア）の共有ドキュメントに自分のスピーチ原稿を打ち込む。
- 2 お互いの原稿を読み合う。
- 3 客観的に理解が難しかった部分などをアドバイスし合う。  
文法や入力ミスなどについてもアドバイスして修正する。



聞き手にとって分かりやすい展開や構成にするために、事実と自分の考えを分け、整理しながらスピーチ内容の見通しを立てる必要がある（中学校学習指導要領解説 外国語編 P.25）。

スピーチ原稿を作成するときには、文の順序や内容の一貫性に注意を払うことが大切である。自分の原稿に他者の視点を入れる機会（協働的な学びの機会）を作ることで、聞き手の立場になって原稿を再構築することが効果的であると考える。

### この活動をICTを通して行う利点

- ・ドキュメント共有をすることで情報がシェアしやすくなる。
- ・PCが間違いのある箇所について波線などで指摘してくれる。
- ・英語のタイピング練習になる。

## ○ 調査問題

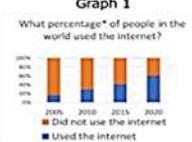
【14】

次の英文は、英語の授業でロバーツ先生が生徒に向けて、デジタルディバイド（情報格差）について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

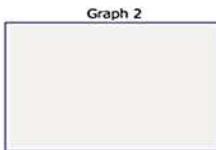
## Digital Divide

The internet\* is an important part of our everyday lives. Some people can easily use the internet, but others cannot. This difference\* in internet access\* is the "digital divide".\*

Graph\* 1 shows that in 2010, only 30% of people in the world used the internet. In 2020, this number reached\* 60%, but 40% of people in the world still couldn't use the internet.



The digital divide is big in some countries. Graph 2 shows that a lot of people use the internet in South Korea\* and the United States\*. The percentage in South Korea is higher than that in the United States. India\* has the lowest percentage among the three countries.



In my opinion\*, reducing\* the digital divide is important. People all over the world should get the benefit\* of the internet. Do you agree with me? Why or why not?

(注) \* internet: インターネット difference: 差異 access: 利用、アクセス digital divide: 情報格差 graph: グラフ reach: 届く、達する percentage: パーセント、割合 South Korea: 韓国 the United States: アメリカ合衆国 India: インド in my opinion: 私の意見では reduce: 減らす benefit: 利益、恩恵

(2)

下線部①のロバーツ先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に入力しなさい。

## ○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】情報格差に関する文章を読み、その内容に対する自分の考えと理由を書く。

【出題の趣旨】社会的な話題に関する説明を読み、その内容に対する自分の考え方や理由を述べることができるかどうかを見る。

## ○ 誤答分析

解答類型	1 正答	2 準正答	9 正答以外の解答	0 無解答
反応率	0.2%	2.5%	53.6%	43.7%

- 正答率は 2.7% であった。主な誤答は、「自分の考え方として賛否の記述がないもの」や「自分の考え方に対する理由がないもの」で、解答の条件を満たしていないことが原因と考えられる。また、理由を伝えるための語句 (because 等) を正しく使うことができず、自分の考え方に対する理由を正確に伝えることができていないことが原因として考えられる。
- 無解答率は 43.7% であった。普段、考える機会の少ない社会的な話題が問題として取り上げられ、話題に関する自分の考え方とその理由を構築することに課題があったことが推測される。
- この設問に正答するためには、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を設定し、普段考える機会の少ない社会的な話題を自分事として考えさせ、その話題に関する自分の考え方等を理由とともに正確に伝えさせる指導が求められる。その際、自分の考え方を話す活動から書く活動へと段階的につなげ、書く活動の際には語句の正しい使い方を意識させる指導が求められる。

## ○ 復習シートとの関連

【出典】R1 復習シート

【学年・単元】中学校3年生・書くこと

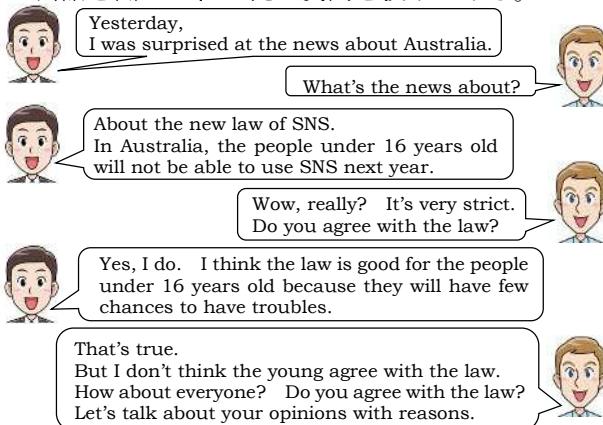
【参考 URL】<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/198941/h31c3eigo-kaku-q.pdf>

## ○ 指導上のポイント

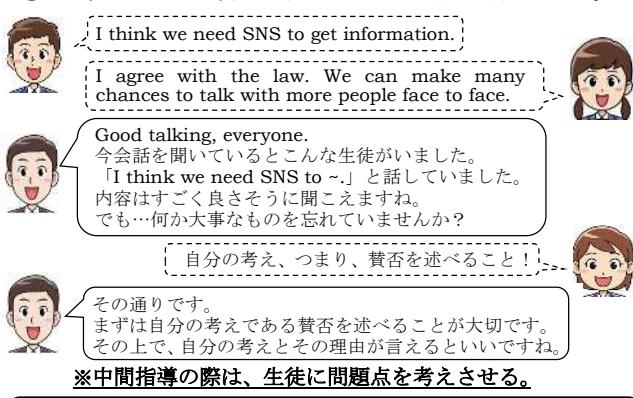
### 領域間の統合を図った活動を通して、段階的に自分の考えと理由を伝える指導

領域間の統合とは、外国語科における「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の5つの領域を複数で関連付けたり、組み合わせたりすることである。ここでは、「話すこと」と「書くこと」の領域を統合して活動を行うことで、普段考える機会の少ない社会的な話題について、自分の考え方やその理由を構築し、英語で書く力を高めることができると考える。

#### ①社会的な話題について、ALTとJTEの会話を聞かせ、生徒に質問を投げかける。



#### ②生徒同士で自分の考え方と理由を話し合わせる。



※中間指導の際は、生徒に問題点を考えさせる。

コモンズのアイコンとコモンズのバッジ

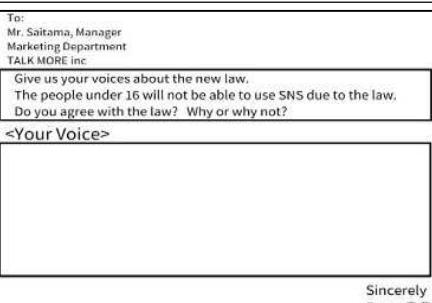
コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を設定し、自分の考え方や理由を伝えることに必然性をもたせ、話す活動から書く活動へとつなげることで、深い学びを実現することができます。

#### ③発話した内容を英文で書かせる。



## ○ 指導上のポイントにおけるICT端末の活用について

実際のメール画面を想定したスライドを各生徒のICT機器に配付し、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を意識させた学習活動（メール文作成）を行う。



To: Mr. Saitama, Manager Marketing Department TALK MORE inc.  
Give us your voices about the new law.  
The people under 16 will not be able to use SNS due to the law.  
Do you agree with the law? Why or why not?

<Your Voice>  
I agree with the law because the number of younger's troubles about SNS will decrease.

Sincerely  
From ○○

To: Mr. Saitama, Manager Marketing Department TALK MORE inc.  
Give us your voices about the new law.  
The people under 16 will not be able to use SNS due to the law.  
Do you agree with the law? Why or why not?

<Your Voice>  
I don't agree with the law because phone companies will not be able to get many customers if young people can't use SNS.

Sincerely  
From ○○

実際に生徒が作成したいくつかのメール文を教室の大型提示装置に映し出し、内容や英文を比較することができる。また、1つのメール文を抽出し、個人やペア、グループ、全体で英文の良いところや改善点を共有したりすることで、内容面・言語面ともにさらに質の高いものにすることが可能となる。